

8/21(日) 14:00~16:20(18:00)緑台小学校 参加者66名 発言者のべ37名
○…ご質問、ご意見 →…川西市教育委員会の説明

<在籍・未就学 保護者>

○今回ね、無期限延期ということで話がついていると思うんですけど、傍聴にも行かせてもらったんですけど、選定基準について、これに関しては緑台小学校の廃校は無くなったと考えていいですか。陽明の可能性もあるということでもいいですか。なんか跡地活用の話とかもされてないんで、またこっちを潰す案で、学校配置の適正化に関する手順を作られても仕方がない話だと思うんで、その辺を明確にはっきりさせてほしいということと、何回も私自身動かさせてもらったんですけど、市長も出てきませんし、こういう大事なことに対してね。これに関しても、行政行政と言われていきますけど、まだ私自身納得していませんので。この辺ちょっとね、私自身は白紙撤回要望しましたんで。また校区審議会に関しても、市議の方から校区の事を言われていると思いますけど、なぜ校区審議会の答申をきちっと手順に沿って扱わないのかということと、市議からも指摘を受けているにも関わらず、教育委員会は、その答申の指示にも、あくまで参考例にしか見ていないように感じるんですけど、それに関してもどう考えておられるのか。前回平成26年に行われた答申に関しても、それはまた新たな手順を考えるんやったら答申の考え方変わると思いますから、新たに校区審議会を設けて頂いて、答申のしなおしも再検討してください。以上です。

→まず一点目ですね、決定をしていく中で、統合校が変わることがあるのかと。今ご意見頂いた中で、白紙撤回という言葉ございましたけれども、手順を見ていただきたいと思います。今後の対応のところの2番目に、統合方針は変更しないということで、この部分は、年度は変わりますけれども、将来的に、中長期的に見た時に、かなり単学級が続いてくるような状況があれば、どこかでまたそういう話、統合がありうるということで、そういった意味では方針は変更しておりません。ただ、年度が変わるということは、そのうちの色々な教育的な視点であったりとか、色々なまちの教育も変わっていますので、その時点でやはりもう一度慎重に検討する必要があるという捉え方をしています。従いまして、白紙撤回ということではありませんけれども、統合校が変わる可能性も当然ありうると、その時の状況によってきちっと、その時その状況の中で一番いい判断をしていく必要があると、そういうふうに捉えていますので、答えとしては中途半端になりますけれども、現時点ではその時に、年度が決まった次に決まってくると、そういう捉え方をしています。

それから、統合については教育委員会が教育的な視点で進めていますけれども、まちづくりとかいろんな視点から市全体としての取組みというふうに考えておりますので、ここに書いていますように、統合校が決まる、そういった時には当然並行してまちづくりという視点も動いていますので、その点をご理解頂きたいなと思っております。

それから校区審議会の事ですけれども、3つの原則頂いています。そのことについてはきちっと進めていくということと、それから両校単学級が発生した時点ということで答申を頂いていましたけれども、その答申のもととなる推計そのものは、教育委員会事務局が出した資料を見て頂いて、校区審議会で審議した答申となっていますので、その基となる

資料そのものが、今回再度検討させてもらうということになりましたので、当然その校区審議会の、平成26年度の校区審議会の答申は決して間違っただけではなくて、その時点でひとつの役割を終えたというような捉え方をして頂いて、今後手順を作っていく中で、当然校区審議会に諮っていくということも考えられるということで、今後検討させて頂くということで考えています。よろしくお願いします。

<保護者>

○じゃあ小中一貫教育は無意味やったということですか。小中一貫したい言うて進めてましたよね、もともと学校選定も。小中一貫というのは全くなくなったということなんですか、考え方として。前回から小中一貫は一切話無くなったじゃないですか。その辺に関してもおかしいなっていう点と、今回特例措置についても触れてませんが、前回の説明会の時に謝られてましたけど、それによって緑台小学校に単学級がうまれましたよね。それに関しても、その一部の生徒に対して個別のお詫びをして回ると教育委員会言われてますけど、それで考え直すとか、学校の児童数を考え直すというようなやり方であるとか、すでにおる、今未来の緑台小学校の子に対して動いていましたけど、それに関しても、行政と言われますが教育委員会だけの方針自体信用出来てないんですわ、はっきり言ってね。今手順と言われてますけど、これも何もかも潰されてるように感じるかも分かりませんが、まず今回開かれている趣旨も、はっきり言ってまたやりますよと言っているだけにしか聞こえないですし、はっきり言って何がしたいんですかっていうのが分からないのと、ずっと言うてる何年度何年度と、年度も分からないのに住民はどうやってここに住んでいったら良いんですかっていう。それだったら勝手に出て行ってくださいというのが方針なんですかと思えますし、前回もまちづくりに関してもそれはばらばらだと言われたのに今回まちづくりについて話せないとか言ってますし、言ってることがいろいろ言うてるんですけど、一体どの方針で動きたいのか、もうちょっとはっきりしたことで、方針というのを組んでもらわないと、手順を作るにはもともとの要素、原因が分からないと、手順なんて作れないと思いますから。その辺ははっきり言って選定するんも、その年度にとかまた抽象的なやり方で終わらせていますから。それに関しても白紙にできないのは市長さんの勝手な、市長が言い出したことですよこれもはっきり言って、言いだしっぺは。これに関しても白紙撤回できないのはプライドの問題ですよ。そういうのに市民を巻き込むのはやめてください。行政行政と言われるけどそんな白紙にしたらいい話ですから。

うまく判断してやればいい話ですよ、はっきり言って。そんなんでまちづくりで人を増やすなんて無理だと私は思うんです、ずっと言ってますけど。また来年なるんか再来年なるんか言うたまま、どうやって子育て進めるんですか。そんなんも、ずっと言ってる通り教育教育っていう言葉だけかざしますけど、いっこも教育として考えてないんですよ考え方が。少数の学級でも単学級でも、どういう教育が出来るのかということ、少子化はもう分かっている話ですから。日本全国少子化なわけですから。たかだか人間が減っただけで何をごちゃごちゃ言うてるんかというのが私の考え方ですから。それに見合った形に切り替えていかないとしょうがないと思うんですよ。その辺ももうちょっと説明に関してもはっきり言って納得できませんので。市議の傍聴も行ってない方もおられますけど、市議の前で会議していることとは全然違うんですよ。自分らの説明しやすいところだけ抜粋して、スライドに流してはいますが、選定基準は、あくまでも選定し直しですよ。そこで

揉めてるわけでしょ。校区審議会の答申に関しても、両校で複数の単学級が発生した場合っていう話があるのに、「複数」という言葉は消されてますし、それももうちょっと答申に従ってということなら従ってください。自分らのやりたいように答申変えるなら答申の意味もないし、やる必要性もなかったんじゃないかと思えますから。そろそろちょっと無駄な税金の使い方でいちいち会議したりすんのそんなんやめてほしいんですけどはっきり言って。そのへんもうちょっと明確に白紙にしてもらわないと、陽明さんの方とも揉めるし、こんなんしとったら。地域を乱すようなことを教育委員会はいつまでするんですかっていうのを一番言いたいんですよ。そろそろほんまに答申答申と言われてるの、もう一回練り直して下さい。今までの説明会で、答申も、出た参加者が偏った人間やと言われてましたよね。その偏った人間の答申をやっても仕方ないんじゃないんですか。じゃないですか。

→一回質問が終わったら、終わり次第、

○質問してるから。答えてくれていないから、納得してないから座られへんねん。納得したら座るやん。

→一回、マイクを置いて頂いたら。

→たくさんのご指摘を今頂きました。今回の説明会につきましては、ひとつは、この多田グリーンハイツ地区において、平成30年度の統合は再検討させていただきますという、そういったことを皆様方にお伝えしていると、そういう趣旨で開かせて頂いておりますので、そのあとのことにつきましては、先ほど説明ありましたように、今後再度手順という形で進めさせてもらった中でお示ししていきたい。今頂いたご意見とか、ご質問についても答えられるように、再度しっかりと考えていきたいと、そういうふうに考えております。

○裏表ない説明をしろって言うてんねん。なんで議会の会議の内容と違うような話の仕方してんの言うてんねん。議会に出たままのスライドを流したらええやん。議員からも大半の反対をうけとったでしょ。

→マイクを通してお願いします。

→ちょっと、他の人のご意見ご質問もお聞かせ頂きたいんですけども。

<保護者>

○来年こちらの方に引越してきて小学校に通わせたいと思っている親です。母からこの話を聞いて、この会に出席させて頂きました。この資料、説明を聞かせて頂きまして、まったく納得できない。

どういう経緯でこうなっているのかというのが全然示されていない資料でよく、これだけの人を集めて説明できるなというのが私の所感です。先ほどお話しされた方のようにバックボーンを私はよく知りません。知りませんが、川西市立学校校区審議会答申、これがすべての決定事項のように

書かれていると思いますけれども、ここから学校統合するという結論に至った経緯は何ひとつ示されていないと思いますね。匂わせているだけであって、なぜ統合しなければいけないかという、説明になっていない資料を見せられて納得いく人は誰一人いないと思いますよ。そういう意味で、じゃあ簡単にお答えいただけるところから質問させて頂きますけれども、学校校区の在り方、答申の中にありますね、①～③の中の、各ひとつひとつについて、定義がどんなものであるかということと、それが統合しなきゃいけないという根拠に至った内容、それを示していただきたい。

2つ目、30年度から単学級になりますと。それがいけないので統合しなきゃいけないんですよというニュアンスになっていますけれども、これ、実際にこの大きい表に書いて頂いたものからしても、ずれ込んでいっているのは明らかですよ。そこらへんも統計的な処理がまともにできていないものを基にした決定事項に対して、どのように考えているのか。で、今その内容を示していないですよ。これ、前回決定したということは、統計資料の基になって出てくる結果じゃないんですか。それが推移した、じゃあ推移したことに対して今までの統計資料の変化がこだけ変わりました、そこら辺の話すら出てこない。今から考えます、基準を考えてみます、じゃあ前回決定した事項っていうのはどっから決定されて、どういう推移を基にして決定したのかっていう、非常に不可思議なものに感じます。で、話しててだんだん腹立ってきた。不愉快千万。4ページ目(3)上のところですね、校区審議会による再審議はしない、校区審議会答申において統合についての方向性は示されています。示していますけど、その内容自体がまともと思えないものに対して、変えないという根拠を示していただきたい。以上3点についてお答えいただけますか。

→まず、1点目です。いわゆる校区審議会の中でいただいた3つの原則ということで、1つ目としては各学校の教育の十全な展開と学校間の教育上における平等性の確保、それと通学上の安全の保持、校区と地域の関係性への配慮、この3つの原則を総合的に考えまして、校区を設定していく。こういう答申を頂いております。なぜそれが統合に結びついてきたのかって言うことですが、

○定義をまず言ってください。

→最後まで聞いて頂けたらと思います。

○平等性の確保、平等性という定義をちゃんと示してください。何を持って平等性と言っているかわからない以上、これ何を示しているのかわかりません。

→平等性といいますのは、いわゆる、公立学校の中で、市内の中で、小学校中学校ありますけれども、どこの学校に行っても同じだけの教育が受けられる、教育の機会均等っていう、同じ教育というのが受けれる。こういうことでございます。市内の中でいわゆる、どこの学校も今現在、複数学級の中で学校運営をしていますけれども、多田グリーンハイツについては単学級が現れるという中で、それが継続的に続いていった時に、やはり他校との教育の平等性というのに欠けるのではないかと、そういうふうな意味で示しているもの

です。それから、

○すみません。さっぱりわかりませんって言うてるんです。それやったら過疎地の単学級が生じているところは平等性が欠けているということですか。

→日本の国の中いろんな地域がございますので、例えばひとつの例として山間部であるとか、そういうことであれば、仮に単学級を解消しようと思っても近くに学校がないと、統合ということも考えられないということもございますけれども、この川西市内におきましては、決してそれが統合できない地理的条件ではないということと、それから条件の中で校区と地域の関係性の配慮ということで、ひとつの中学校区であるという、そういった中で学校を一つにしていくことも可能ではないかという判断で、統合に至った、そういう経緯でございます。

→実はあの、前回の説明会の段階でそういうご意見確かにあったんです。今日集まって頂いた理由は、あの時にお答えできなかったことも含めて、改めて推計方法を見直したいということでお時間頂きたいということをお知らせしたい説明会なんです。ですから、ご意見通り、現在の推計方法ですね、これが間違っているというわけではないんです。兵庫県内同様の方法で、転校生というのは、読めないということなんで、その流入要素というのは、含めないというのが普通のやり方でした。ただ、今回統合の判断するにあたって住民の皆さんからも強くご意見頂いております。で、改めて、過去の数字っていうのを確認したところ、おっしゃられた通りだと、これは事実だということ、私どもは認めているわけです。

そこで、この土地も現在は不動産価格も落ち着いておりますので、こちらの方で今予想している住民の数以上に増える要素が含まれるので、このように推計方法から見直したいということで申し上げます。推計方法を見直しますと、それによって将来の状態が分かってくるので、改めてそこで、今質問された内容というような、こういう内容ですからこういう推計値になりましてとお示しできると。以前の統合方針決めた時は、単学級が校区審議会で、一定出るという条件があったにもかかわらず、前のお父さんがおっしゃったとおりで、校区審議会の答申以上にちょっと進めたところがありました。それも含めて、本当にそれでいいのかということをお我々内部で検討しています。それが今新たな質問で、どういったときに統合を考えるのかという手順のところになります。で、過疎地の状態とそれからこちらのようにまだまだ十分余力がある土地をいっしょくたに話すことは出来ない、平等性という意味では、おそらく平等ではないと思います。一個一個のその平等性であるとか、細かな事柄については改めてまた個別の勉強会であるとか、そういうときにお話しさせていただきますが、今日のこの暑い中お集まりいただいているとこでお伝えしたいのは、とにかく平成30年度にこちらでやろうとしていたことは再検討することですから、ありませんよということです。じゃあいつになるのか、いつまでかかるか曖昧じゃないですか、どう暮らしていたらいいんですかとお質問あったと思うんです。これもおっし

やる通りだと思うんです。ただ、しばらくの間推計値って言うのを見ないことには、実際統合まで進めるのか、それとも統合以外を決めることができるのか、そこを考えていきたいと思っていますので。そのためにそういう方法ですと、もう一つ言うと皆さんと個別の学習会であるとか、そういった形で意見を頂きながら、なんとか手順の方を持っていきたいなど、このように思っています。そういうことをお伝えしたかったんです。

校区審議会による再審議はしないというのは、その条件で、その当時与えられた条件で判断された事柄についてはそれで終わりです。新たにこの先推計値の出し方であるとか、統合以外の方法があるならそれは何なのかということは勉強できますから、その時に先ほど提案頂いた、校区審議会にかけるとか、いろんな方法を持って合意形成したいと思います。今日の趣旨は、そういうことなので、そもそもの話に戻るということは時間の関係で出来ないと思います。申し訳ないんですけども、今日の最初は分かりにくかったかもしれませんが、そういった形でご質問頂ければと、そのように思います。

<地域の方>

○私はもう子どもは卒業して成人しているんですが、いつも思うんですけど、今の反省して地域の住民の意見を聞くようにしますと、全然そういう気持ちがないっていうのはさっきから最後まで一緒ですよ。1回目2回目3回目、私は1回目は出ましたし、2回目は出れなくて3回目出たんですけど、1回目のときからもう、最初から聞く気ない感じやったかと思っています。で、これだけ時間をかけてもひとつも進歩していないじゃないですか。こないだの会の時にこれは白紙に戻しますとちゃんと教育長から聞いてます。こんなに月日が経って、何か月もたって、こんなことしかできないんですか。それから、一番最初に聞いたのと、今聞いたのと全然違うんですよ。最初小中一貫する、小中一貫すると、次からは小中一貫の話は消えた。じゃあ校区審議会ってどういうふうだったんですか。おっしゃったのは校区審議会の審議でも、それから法令によって、法令って言うのはもう一度どうだったのか書いてください。その時間いた法令は基準値がずいぶん古い話です。それから2年前には、それが緩和されています。そしたら校区審議会はその古い法令に従って校区審議会開いて、統計が間違っていたのにそのまま校区審議会開いて審議しませんって言うのはおかしいと思います。一からやり直しですよ。こんなこと誰でも分かってるじゃないですか。みなさんたぶんそうおっしゃっているんです。校区審議会って、その教育委員会が間違っただけで決めたことなんですよ。で、こういうふうにならないうちに1学級つくっちゃったんですよ。緑台小学校の。教育委員会が。多田小学校やあちこちに皆さん校区外で陽明どうですかとか言って。それでこんな、斜線マーカ一増やしてもらったら困ります。これはどうしてですか。自分達のミスで作った単学級をなんでこの数に入れてるんですか。そういうことやるって自体がおかしいんですよ。自分達で思った通りに動かそうしか、そういうことしか見えないんですよ。皆さんね、この暑い時にね、夏休みに子どもさん置いて時間作って来てるんですよ。またそういう勉強会するって、なんですか、それ。それやったらもっと早い時間にやらないといけないんじゃないですか。自分達の意見だけ言うん違って、せっかく皆さん集まってるんですよ。皆さんの意見を聞いて帰るのが当たり前じゃないですか。私いつも思うんですが、お役所関係の方は、人が質問していることに対して気に入らない。今日出来

なかったら持って帰って返事します。そう言ったら必ず返事ください。皆さんいろんな意見出しますが、自分達の都合の悪いこと言っているようにしか聞こえないんですが。それぐらいね、小学生でもわかると思う。それで教育が教育がと言ってもらったら困ります。今と同じような事をやってるんです。質問して答える。当たり前な事をやってるんです。学校教育と同じですよ。それがまともに出来ない人たちが、学校教育は単学級では出来ないとか、12学級ないと出来ないとか、言って欲しくないと思います。で、ころころ変わるのはどうしてなんですかね。私内心思いますけど、校区審議会もそれはどういう資料をもとにして、どういう結果になったか、きっちり皆さんにプリントで出してください。それと、その校区審議会は、教育委員会はその、決めた根拠となる法令を、ちゃんと書類で皆さんに配ってください。これとこれとこれの法令のものでよければ、皆さんどういふことかわかりやすいです。法令が変わっているっていても知らん顔してるし。古い法令のまましてるんじゃないですか。いくらでも疑うところありますよ。大阪市なんてこの前初めて合併しましたけどね、全校120人、去年くらいに出てましたけどね。それくらいになるまで学校存在してたんですよ大阪市は。で、子ども達も通える範囲でって言いましたけど、子ども達の通える範囲じゃないんじゃないですかと議員さんから意見出てるはずですよ。無理じゃないですか。子どもの足のこと考えてくださいという意見も出てたはずですよ。どうしてそれを無視するんです。それが子ども達の通える範囲なら、みなさんそしたら何日間通いましたか。私一番最初にお願いしたんやけど、緑台の端っこから陽明まで歩いてくださいって。通った方手挙げてください。この暑い中通ってください。どれだけの荷物を持って。自分達がやらないで通える範囲ですから一言で済まされたら子ども達はたまりませんよ。何にも子ども達のこと考えてないでそんなでやらないでくださいって前も言ったはずなんです1回目に。ちっとも反省になってないし。皆さんの意見を、きっちり聞いて、しゃべる方はきっちりした、それに対する明確な回答をしてください。皆さん、質問された方に対して。出来なかったら、持ち帰って次の時にちゃんと回答しますって、回答を下さい。私の、持ち帰って回答をくださいってう1回目の意見、一つも回答貰ってません。もうあれは去年の10月か11月ですね。ここで返事頂かなくて結構ですから持ち帰って検討くださいと言った議題いくつかあるはずなんです。一度も返事貰ってませんよ。それで前へ前へ進まれたら困ります。校区審議会を通ったなんてそんな古い話は捨ててください。白紙しかないと思いますよ。市長が決めて仕方ないからねって教育委員会いりません。教育委員会は子ども達を守る場で、最後の砦じゃないですか。市長に対して意見言えない教育委員会なんていりませんよ。そんな人たちに任しといて税金とられるのたまりません。皆の為にやってるんじゃないんですか。自分の身を守るだけにやっていますか。本当に子どものためにいろいろとやり合ったんなら怒ってください。私が間違ってるなら言って下さい。私が言ってること間違ってると思うなら言って下さい。子どものためにやってほしいんです。私こ子どもなんか小学校とっくに卒業しています。やり方が汚いから怒ってるんです。少なくとも教育委員会の責任で、単学級になったところ、単学級であってはいけませんし。知らない人見たら本当だと思いませんか。自分達のリスクしか考えないでやったらあきませんわ。1回目のときに、教育委員会の方ちらっとおっしゃってました、これから先緑台は増えるんだと。その時資料があったはずなのに、隠してるんですよ。それを私たちは聞いてますからね。これから先は増えるようなデータがありますと言ってるのに、どうしてそのようなデータが2回目3回目では言わなかったんですか。1回目はその話ありましたよね。実は緑台小学校の方が入学生

が増えるんです。それを叫ぶデータが無かったのはおかしいんじゃないですか。だからそこにデータないって言われるならいりませんよ。データが無かったとかそんなのは本来無責任です。それで私たちはわーっと騒いだから、まあそしたら調べましょうか、調べたところだったんです。そう思うんだったら、自分達の仕事はどうなんですか。自分達はそのプロでやってるんじゃないですか。自分達がちゃんとしないで、自分達の怠慢でこういう問題がいろいろ起こっているのに、それを当たり前のように説明というか言い訳なんてしてもらっても私たち何も信じられませんよね。言うことに無理があったらおっしゃってください。だからデータが無かったからじゃないんです。ちゃんとどこかにデータはあったんですよ、1回目も。緑台小学校もこれから先増えるって。それを阻止するためにやったわけでしょ。だから、1年生から、今度入る1年生から

(参加者：簡単にまとめて。意見をまとめて。長すぎます。)

ごめんなさい。だから今回前にでなかったら良いですけど、とにかく白紙に戻してください。

<在籍・未就学 保護者>

〇とりあえず僕は市議会の方を見てないんですけど、先にいうときます。ただ、言葉悪いですけども、教育委員会さんのお客様ってお子様やと思うんですよ。子どもがお客さん。僕ら民間企業の人間からするとお客様っていうとお金とるのでね。お子さんのために動かなあかんと思います、まず基本が。ほんまに動いてますか。たとえばこの資料見て、28年度の1年生、いきなり何もなかったら、緑台来てた子は35人じゃなかったと思うんですよ。であるのであれば、単学級になるけれど、何とかして子どものためにとと思うのであれば、例えば、35人として1学級がなってるけどそれを外すとか、本当に子どものことを考えるのであれば、そうするんちゃいますか。たかが資料ですけど。これをぱっと見たときに網掛けの、29年度もう、単学級2つあるんですよ。でも何で35人になってるんやと言うたらあなたらが勝手に動いて、勝手に他行っていいよと言ったから35人になってしまったわけですよ。実際ね。まだその話がなかったら38人やったからかもしれない。なんぼか知らないですけど。そこは自分らが一番分かっているはずやと思います。ほんまに子どものためにやっていますか。僕らが質問しても全然出てこない。だって自分らの立場とかやってないから言うても出てこんのです。僕らが言うてるのん全部子どもの立場、ためのこと言うてるんですよ。一番最初に、もらった資料にも陽明と緑小、ひつつくのは何で、僕聞きましたよね。なんでこっちなんと。清和台も連携にするんですかと、聞いたら清和台はしませんと。じゃあ、こっちも連携で良いんじゃないですかね。貰った資料では、そりゃそうですけど、例えば陽明を残した方が近くなります。単学級になる確率が高いのは陽明です。貰った資料ではどう考えても陽明を潰すべきです。負担かかる子どもの人数どっちが多いねんてなったら、陽明にする方が多い訳です。実際ね。けど小中一貫教育をしたいやどうやこうや言いはりました。でも2回目のときに3回目のときに、元に戻します。というふうな話の時に小中一貫というのが全くないですね。で言うてる今回の、平等がどうやというんやったら、ここの皆さんが、すごい良いですよ。っていう一貫ですが、ここだけ一貫して、他は一貫になってないというところで不平等になるんちゃいますか。実際ね。清和台は統合して連携になるでしょ。こっちは陽明にするから一貫になるんでしょ。で、教育委員会の方は一貫がいいよ。いいよ。とずっと推したんやから、清和台に不平等になるんちゃい

ますか。ね、やりたいから、それこそここをどっかに売るの決まっとったんちゃうかと思われても仕方ないです。本当に子どもの為にやっていますか。例えばこの35人になってるやつ、どうにかして複数学級にしようと思うんやったら教育委員会は何とかして30人にしたらいいんじゃないですか。法律その他もろもろあるかもしれないですけど、それでもやろうとされましたか。一番最初に統合になってもう向こうになるんやったら、ここにスクールバスを通してくれと、でここにはすごい状況になってるんだと、いうふうにしたら、対等になる可能性もあるやろと。そういう案も出しました。っていう話で普通は答えが返ってくる。今回も質問して、言われても答えがすぐ出ないんですよ。本当に一生懸命子ども達のことを思ってやってるのだったら、何を言われてもあつという間にそのまま返せるやろと思うんです。例えば白紙撤回を見て、そりゃ市の色々あるのかもしれない。白紙撤回できへんけれど、今から作り直す物は一から作ります。今までやったことは振り出しにします。だから今度の再検討の今後の対応の部分で作る分に関しては今まであったやつを全くなしのゼロの白紙から作るんで、ほぼ白紙になったものと同様のことになりますとか、いう答えが返ってくるかなと思ったけれど、返ってこない。結局は多分、今なんかつけたもののやつを、そこから、ちょっとだけ肉付けして出来上がりというルールちゃいますか。あと皆さんの方に陽明も含めて、これでよろしいですか。というふうなことを2回3回して出来上がりっていうふうな形の手順ちゃいますか。だから全てが心がこもってないんですよ。本当に子どものために、だから白紙撤回してくれっていうのは、どうしても出来ないと思います。役所にしがらみがあると思います。だから、そこは白紙にできへんけど1から作る分に関しては白紙で1から作りますっていう言葉が出るかな。と思ったんですけど、そんなんすら出ないじゃないですか。本気でやってないんですよ。説明会せえ言われてるからしてる。適当なやつを作ってきてる。この人数のやつも、先ほどの方が、こんな26年の古いやつ作って28年こうなりましたって。保護者の方が増えているよという話で、やっと動いたんです。だから保護者の方が動いてなかったらこのまま30年で決まっとたんです。自分らが止めたんちゃうんです。だから本当に子どもの為にね、次説明会するんであれば皆さん子ども連れてきてはる人もいるけど、親に預けてますし、これぐらいの案件になってるんですよ。だからその時に、何にもうんうん、そこでこんな面もあります、これはこうです、説明出来るくらい、すぐ、自分らが勉強会しておいでや。だから、こういう会でずっと言うてるでしょ。あんたら言うてること説得力ないねん。子どもは何かしたい時に、全部宿題終わらせたからゲームしていい、とかいうようにちっちゃな子どもでも親納得させるためになんか出してきよる。あんたらないねん。何度も言うてる通り。だから、手順を作るにあたって、白紙は出来ません、でもこうこうこうです、というようなのが出てくるかと思ったら全然出てけえへんじゃないですか。で議会がスタートしたら、全然違う部署で、初めて来る人に正直こんなん分で分かるか。当然やないですか。何度も言うてると思います。やるならやるでいいんですけど、ちゃんとしたものを、ちゃんと自分らで、子ども達のことを思って、35人、網掛けのやつ見た瞬間に、は？と思ひまして。あんたらのせいで、1学級になったんや。そんなん動かへんから、そんなんやったら、ここは網掛けは外すなりなんなりして、ここの単学級は違うんだよというふうに見せるなり。ここ見た限り、初めて見た人は29年に見込みあるやんと思うじゃないですか。だからこんなん始める前にあんたらが直さなあかんと思うんですよ、まず。じゃなきゃ皆さん納得しない。だからなんかを作っていくても地域の住民の方と協議をしてというふうなことになってるけど、オツケーがとられへん、このままずっととられ

へん。もう平行線です。そのあたりももうちょっと考えて。申し訳ないけど。だからその辺りから始まん限りは、たぶんどんな良い案だしてきても平行線ですわ。こっちは子どもの為に必死こいてやってるんですわ。それこそ会社を休んで出てる人もいるんですわ、実際ね。なぜならばその休んでる方は、自分のお客さんを犠牲にしてるんですわ。あなた方のお客さんは子どもです。子ども第一で、こんなことなるわけないじゃないですか。お客さん無視して、仕事をしている人はいないと思います。ちょっと考えてからちゃんとしたものを作って。ちゃんとしたもの作るのにどれくらいかかるか、時期は変わってると思うけど。それくらいちょっと真剣になってください。そやないと皆答えられへん。延期になりました、というふうに書いてあって、確かに延期で書いてありますわ。ところが時期は検討しますって書いてるんですが、3ページのところに、両地区における統合方針は変更しない。ただし現時点における年度は再検討する。年度は再検討する、ということは、緑台を潰すということは変わらへん。ここを見る限り、この文章を見る限り。けど後ろでは、統合する学校の選定方法って書いてるんですけど、どっちでもええからじゃなくて、前のページから見ると、緑台潰すんですよ。前後しか変わらない。でも、後ろのやつは学校選定方法を考えるっていう、このままいくと、学校の選定方法はこっちを潰すための物を作るんちゃうか、という。だから何にも参考にならへんです。心がこもってないから。何とも思われへんのですよ。本当に事務としてやってるしかないから。だからもうちょっとちゃんとしたものを作ってから、もう一回やり直そう。

<在籍 保護者>

○第一回目の説明会から出ていました。その時に統廃合の理由となるのが単学級になるって、先ほども言われていました、人数が減るというのを根拠にしたと思うんですけど、小学校に入学するのは、6歳になる子なので、その3年後、4年後っていうのはね、人数を推計していくのは、すごく難しいことだと思うんですね。ここに住んでいる方だけでなく、転入される方っていうのも、すでに生まれたお子さんも伴って転入されてくる方もいらっしゃるし、例えばこう年金世代60代の人、70代の方が何年後に何人になるっていうのを想定するとは全然違うと思うんですね。ですので、今回の学校配置の適正化の手順を見直すとおっしゃられても単学級になるっていうのを目標と言ったら変ですけど、基準にしていくと、それがどんどん単学級になるのが常にずれていって白紙撤回という今回統廃合の、おっしゃってないけど、それがこう延長されるような形で、ずるずる引きずられていくと、さっきもおっしゃってましたけど暑い中、年に何回も時間割いて来るのもね、ものすごく、正直わずらわしいんですね。統廃合の基準になってるとおっしゃってるものに納得のいかないまま、やっぱり反対しないといけないかな、と思ってるのに来てるのにね、基準となっているものに納得がいかない。そのへんをもうちょっと考え直してほしいなと思います。

<地域の方>

○すごく気になるのは、校区審議会ってなんですか。スーパーコンピューターみたいに校区審議会で決めたことは、本当に正しいことなんですか。っていうのが気になって、どんなメンバーが中に

いるんですか。教育のスペシャリストですか。何でも知ってる何でも予想できる人ですか。そんなことないと思います。人間は間違ふこともあるし、考えも変わります。今まで、何回も説明会をしていると、そういう問題もあったな。通学路の問題もあったな。じゃあ色々な問題をみんなで一生懸命、口に出して、手を挙げて言ってます。それを聞いて校区審議会の人だって気持ちも変わるし、教育委員会におられる方も内心、そうかもしれない、って思ったり、もっと良い方法があると思ったり、そういうことを、たくさん人間で考えていかなきゃいけないのに、校区審議会で決めたことは、もう26年度に決めたことで再審議しません。答申は決まっています。って言いきってしまったら、今一生懸命みんなが頑張ってる意味が全然ないと思います。だから、人数のことじゃなくて、今まで気づかなかった意見とかをいっぱい言ってくれて、地域の話とか保護者の話とか子ども達が自分で言ってくれたこととか、そういったことを全部聞いて、もう一度全部、はじめから審議していただきたいと思います。以上です。

<地域の方>

○校区審議会について、教育委員会事務局の木下部長さんは、校区審議会の再審査はしない。ということでしたが、その右側に座っておられる、名前はわかりませんが、説明されたら、何をどう、見てなかったのか、その、右側に座っている方は、校区審議会では過去のデータによる間違った推計による、データを基にして、なされたものであるから、今後の統合を考えることにあたるようなことに関しては、それは使えない。新たに審議会をする必要があるということを明言されましたね。よろしいでしょうか。

→例えばの例ですけれども、私が言ったことについては、ちょっと誤解されてるみたいなんですけども、26年度に校区審議会に与えられた条件であるとか、資料ですね。あの当時、先生方が判断した内容について、クリアーにして、あの当時間違っていたということは、しませんよ。ということで校区審議会による再審議はしないんです。だからこれを越える内容のことをもう一度するってということではありません。だから、今度、この先ですよ、実際に推計の方法であるとか、新しい材料、資料に基づいて、さらにですよ、陽明小学校の子どもさんの数、緑台小学校の子どもさんの数、それから、一貫校の考え方、いろんな条件がまた変わってくると思います。それが、何年か先になったらもっと具体化してくると思うんです。その時にもう一度、これは校区審議会になるのか、ちゃんとした別の名前の審議会になるか知りませんが、第三者機関にお尋ねして、今申し上げた通り、改めて行こうということは、あるということが言いたいんです。誤解しないでくださいね。教育委員会とすればこの校区審議会による再審議をしないということは、一度決まった昔の事柄が今度影響しているかと言えば、それは違いますよ。ということです。わかりにくいですが。

○校区審議会の審議をしないというのは、昔の状況に関して出したものは、そのまま生きている、

ただし、それは昔の状況に関して言うているだけであって、今度については関係ないということですね。だから、これまで校区審議会による再審議をしないというような文言が、どれだけ重要性があるんです。でも過去のものがこのまま生きているだけに過ぎない。今度新たな考え方では、また新たな問題として考えると、言ってほしいですね。だからここにその文言書かれること自身が、全く納得いかない。どう思われますか。

→そういうふうなご意見というのはよくわかりますし、ただね、改めて誤解があったら困るんでもう一度申し上げますが、過去の状態で過去の診断なり審議の答申の内容が違っていたという形でひっくり返すことはないということをはっきりさせる為に、こちらには書いてあります。意味がないと言われたら、それは確かに今、今回の結果、統合年度について、もはや30年度ではなくなってる訳なんで、このことについて校区審議会の判断した状況とは、今は違うんです。だから改めて、この先全く、ご指摘にもあったんですが、新たな方法で、きちっと説明できるような状態になった時に、新たな所で審議するということは、ありえる。そういうことであります。

○ありえるというのは、その時点であるということですか。で、私の意見、再検討についてということで、色々頂いたんですけども、再検討しないければならないようなミスがどうして起こったかに関して、何らはっきりしていない。レベルの問題じゃないんです。中身が悪かったわけ。さっきの校区審議会に関しても、その当時の資料を出したかもしれない。で、児童数推計が間違ってる資料を出したかもしれない。しかも文科省の手引きの資料も適当にピックアップして、すべての資料を、添付の中身をすべて審議会のメンバーに渡していないじゃないですか。そういうような杜撰な、内容のことをやったから色々な問題が降ってくるわけ。そして、今回の統合に関しての推計が悪かったにしろ、これは教育委員会事務局は12学級持てなかったんですよ。で、0歳児の人口が各年度に渡って0歳児の人口はどれだけいるか。0歳児以上1歳児以上の児童がどれだけいるかっていうのを、ちゃんと把握してるわけなんです。このグリーンハイツにおいては、元からここで生まれた人は、出発当時ここにいなかった人です。全部転入です。そっちの返答は、このニュータウンに関しては清和台もそうですが、転入する人口は、主なんです。ここにいまして、ここにずっといるという人はむしろ少ない。そういうことなんですね。教育委員会事務局は教育のプロやから、そんなことは百も承知なんですよ。なのに、推計がおかしかった、ちゃんと推計してなかった、という言い訳で、なんらかの力が働いて、統合じゃなくてはいけないようなことになってたんじゃないですか。だから、手ぐすね引いて待ってたんですよ。単学級になるということを狙いすましていたから、そういう精神だから失敗するんです。ちゃんと、単学級になってこれはどうしようもないな、ということになれば、そっからの話になるわけです。ちょっとでも単学級が見えたら即統合や、これは今回失敗した手順と私は思う。そういうことの反省なくして、手順の見直し。手順の問題じゃないですよ。中身の問題なんですよ。どういう中身でいくかっていうことは、一番大事。手順じゃないです。手順の説明会、手順の説明会、何ぼでもしたからいいというものではないんです。説明会は少なくとも中身がどう決まるかっていうのが一番の問題なんです。そういうところを反省してください。以上です。

<未就学 保護者>

○私は来年1年生になる子を持っている親です。来年初めて小学校に一人目の子が上がるので、親はほんとにすごい心配してて、別に統合とかそういう話じゃなくても、やっていけるのかなとか、いじめられへんかなとか、勉強ついていけるのかなってすごく思ってるんですよ。それなのに、それ以上に、それ以外の心配をこれ以上増やさないで欲しいなって、今すごく思っています。で幼稚園の子なんですけれども、幼稚園に行ってる友達と「緑台小なくなんねんで。」「え、なくならへんことになってんで。」って言い合ってるんですよ。そんなんおかしいと思いませんか。幼稚園の子ですよ。そういう事を幼稚園の子にまで広めるっていうのはちょっと、どうなってるのかなって思って、内心不愉快で仕方なかったんです。で今までも説明会に来たかったんですけど、子どもが小さいので来れなくて今日初めて来させてもらって、意見を言わせてもらうのは本当に申し訳ないんですけど、ただ困ってるかはわからないんですけど、子ども達はやっぱり不安に思ってると思います。だからいったん打ち切りになったのであれば、白紙撤回という言葉がもらえれば、親もすごく安心ですし子どものことに集中出来ますし、何かあった時に子どもを支えていこうって思えますけど、学校が移るかもしれんという不安なことがあったら、どうせ学校移るねんしそこまで言うてもしやあないかなとか色々やっぱり考えることがあるんですよ。だから教育委員会って本当に子どもを守ってくれるところだと私は思うんで、一回ちゃんと白紙撤回という言葉を出していただいて、子ども達を安心させていただきたいなって思います。よろしくお願いします。

<在籍 保護者>

○緑台小学校の児童がいる保護者です。今、先ほどから白紙撤回出来ないのって言われてるんですけども、幸か不幸か、緑台小学校の就学児童も増えて、今回白紙撤回、統合がのびたわけですけども、緑台をずっと歩いてもらったら世代交代、たくさん新しい家が建ってるんです。

そこに若い世代がたくさん入ってきてるんですけども、小学校がなくなるかもしれないという話があるのとないのとでは、当然若い世代が入ってこようかなと思う思わない全然違うと思うんですよ。例えばあなた方が3年後に潰れる会社に入りますかって言うのと一緒やと思うんです。

いったんあなたたちのミスで統合の案を上手に進められなかったんだったら、まずきちんとここで白紙撤回をして、まずは単学級を生まないように新しい世代を呼び込む方法をとって頂いたほうがいいんじゃないかなと思います。それから単学級は、非常に平等じゃない平等じゃないとおっしゃられるんですけども、うちの子ども緑台小学校1年生なんです。あなたたちが平等じゃない平等じゃないと言われる教育を6年間受け続けるのか。平等じゃないと思われるんでしたらこの案を維持する労力をこの単学級でもっと魅力ある単学級にしていくために、そちらに労力を注いでもらった方が、よっぽど、良い教育が続くんじゃないかなと思います。ちょっとそれについてご意見頂けたらと思うんですけど。

→たくさんの意見を頂いております。その中で、ひとつは当初単学級というところ、ある

いは、一般教育を進めていく中で、特に児童推計をして見守っていたわけですが、それについて、大きな流れとしては減少傾向ということで、捉えていたものが、若干増加していくという、そういう状況の中で、今回の再検討ということに至ったわけです。その中で色々と今まで取り組んできた中でやはり地域の皆様とか、あるいは保護者の皆様と十分な意見交換する場がなく、進めてきたと言う事に一番の課題が見込めます。

そういった中で、今後しっかりと、地域の皆様とお話、あるいは、いろんな形で意見交流しながら、今後の事については、考えてみたいということでもあります。

その中で先ほど単学級を活かす方法ということで、ご意見を頂いております。

今この時点ですぐに、どういう形でっていうことはお答えできないんですけども、これは単学級であれ、複数学級であれ、周りに一人一人の学級というものがしっかりした、お互いが絆で結ばれたりとか、教師と子どもの関係であったりとか、あるいは学校全体ということの中で作られていくものですので、そういったことについては、しっかりと受け止めていきたいと思えます。決して単学級イコールよくない、っていう、そういう捉え方をしているわけではなくて、単学級では、その中で、やはり、やるべきことをしっかりありますし、逆に今、人数の多い学校もあります。そういうところでは、その中で配慮すべき部分はたくさんあると思えますので、そういった所を踏まえまして、しっかりと子ども達が楽しく学校に通えるといった環境を整えるような、努力はしていきたいとそういうふうに考えております。

○そう思いたいっていうのは遅いんですよ。もう小学校1年、半年たってるんですよ。あんたらがちんたらちんたらしてる間にどんどんどん子どもは先に進んでいくんですよ。でもあなた達自身がね、この子らを不平等やと思ってるんやったら、早急がいい方向に持って行って下さいよ。子どもの人生帰ってこないんですよ。

あんたらこの案をどうしようかとちんたらちんたらしてもね、給料もらえるからいいんですけどね、子ども達はね、過ぎた時間は帰ってこないんですよ。あんたらが作った単学級ですよ。別に単学級でも僕は良いと思えますし、それで素晴らしい教育をしてもらえればと思えますけども、そもそもあなた達が単学級が良くないって学校潰そうとしたんですよ。そやから、自分達が作った単学級、責任もっていい方向にしてくださいよ。教育長一言意見下さい。

→一点だけですけども、単学級、特に小さい1年生なんかそうなりますと、先生にとっても、なかなか自分1人でやっていかなければいけない。例えば複数学級であると、先生同士相談したりとか、ある意味自分のクラスでない子どももお互い見ていけるという所で、そういうことで、単学級の場面においては、やはり担任の先生の大変だろうということで現在、統合加配ということで、本来ならば1名になるところに1名加配するという、そういう形での配慮はさせて頂いております。ただそれはすべてではございませんのでね、今言われたように子どもにとっていい形であるようにということで、ご理解いただければと思えます。

→いくつかご回答します。一番最後にですね頂いたご意見で、単学級イコールそうじゃないが、単学級でっていうことは従来のには、あるんですけどね、その単学級の良し悪しということではなく、実際にこちらですね、取組の中で特別措置にからんで、確かに7人の方が動かれました。その中で本当にですね、5パーセントの枠で事情があって、それぞれの事情があって、それで行かれた方もおりますし、このことで行かれた方もおられます。そのことについてはおひとりおひとり今ご事情を聴いて今対応させて頂いているところです。

その中で、実質単学級が今の1年生で出ました。ですから、そういったところを、この統合に対してこういうことが発生したことに対しては、クラスを2つにわけるとことは難しいですけども、一定、教員を配置してですね、例えば2つのグループでできるような時期とか1人が中心でもう1人がサブにまわる形で2人ですね、学級経営できるような、授業できるような態勢で今は進めております。そういった中で、一方でですね、教育にとってもそれから市にとっても若い世代が入ってこない、子ども達が、学校に帰ってくるということは良い事である。そういう市政のなかですね、今親元近居助成制度の方で川西市の実質は昨年一昨年からの動きが大きいですけども、それで帰ってこられた方が、緑台に関しては26年度で13名おられました。27年度、7名いらっしゃるんですけどね、実質はその7名の方が親御さんの元に帰ってくるわけですよ。それ以外にも色々こういう事情の中で、平成17年から28年度6月までの11年間の、それは別の市長部局の方が調べてくれたデータがあるんですけどね、このグリーンハイツの中にも540件か550件くらいの方々が、市外から入ってきています。そのうち半分が市外です。そのうちの半分、4分の1は、陽明の方に行きまして、新しい所が建てられたり、グリーンハイツの中でおうちを建てられてる方。ですから、11年間で540人ということは、一年間に52、3件の方が地元の中で建てられたり別の地域で建てられたり、グリーンハイツに入ってくるという状況はあります。

ですから、私も4丁目3丁目全部回らせて頂いてたんです。新しいお家が建ってる所もございます。この前の会ですかね、説明会のなかで、保護者の方から情報頂いて、データ頂きました。説明会をしながら実際に皆さんのご意見を聞く中で、やっぱり、そういう打ち合わせが必要なんです。26年度の当初の推計を持って、単学級のリスクを無くしたいということでありましたら、そうやって進めたわけですけども、現実、推計ですからズレがありました。その結果27~28年度と今の30年度を持って実際には微増ですけども、35人を超えて、40人から50の方が、今現実29、30、31年とですね順番に0歳児までの34年度までのデータの中にですねそういった方々の社会増減も乗っかってくる可能性があるだろうということを明確にする中でですね、自治体の推計までで数値化ことに対しては、一定の改変をしますということを含めてですね、当分の間、児童推計については、見直しするということで、今回、実際再検討という形でですね、説明会をさせて頂いておられます。この再検討ですけども、もしかしたら再検討で推計の方法とか、見えてきます。推計だけでいいのかと。実際に2校またはそれだけじゃなくして他の学校も、本当に実施の手順を作る段階ですね、両方に実態として、単学級が出る、実際に出

たとして、それが本当に35人前後なのか、20人台なのか、それは私も、大阪とか尼崎、阪神間で教育長会議の中で、いつもこれ課題に挙がっているんです。その中で大阪をお伝えします。大阪市内で27年度ですね、297校の小学校があります。297校のうち11学級以下なのは108校なんですね。その内、5学級は維持されています。6学級以下になると実は37校ありました。残りはですね、7, 8, 9, 10, 11学級は残りの71校ですね。それを足すとすごいことです。合わせて108校確かにありました。その中で複式学級って言ったら、全部合わせても120人どころか50人という学校もあるんですね。あの大都市の大阪市、すべての府にこういった状況を抱えている。だから108校はこれから先も実際には、住宅事情を考えた見通しの中で大阪市も本市もですけども、若い世代が入ってくる、そういうふうに来るだけしてるわけですけども、大変難しいなということは将来的にですね、難しいことがあって、今回答申の中で、大きな方針としては一定年数の中で、やっぱり将来的には、どうしてもちょっと減ってくるだろうという見通しの中で、将来的には統廃合をしていくことについてはやむなしということをお断りしました。それを一定受けた形ですね。じゃあそれを5年後か10年後か、分かりません。それについては今から手順をきっちり作っていく、その1つが今の推計方法があります。それが、推計方法と今の実態ですね。今の実態の中で、それは実際どうかということを含めた形でといったことは、これから5年後6年後、見直す中で出てくる可能性はあります。ここは推計を見直す過程の中で推計と実際の実態が本当に単学級がでてくるといふ現実があって、そういうところも含めてですね、考えていくことを視野に入れております。そういう目ですね、ひとつの方向については必要な、というふうに思っています。それから、小・中一貫っていうのをやっています。当然これは7中学校区でやっております。7中学校区で南中から東谷中学校区にわたってですね、幼稚園も保育所を含めてです、公立の。同じ地区の中に親御さんがおられると、兄弟姉妹一緒ですから。その中で、目指す、その学校、中学校区の目指す子どもの状況を踏まえて、同じ土壌で実際教育過程を含む、教育活動をしていこうということで、5、6年前から取り組みを進めています。その基盤になるのが、連携教育であるし、一貫教育であります。一貫教育というものはですね、特別にやることは難しいと思います。ただ小中一貫教育の視点にたった、そういう視点にたった取り組みというのは、近接校の場合できる可能性があるということに言及しています。その例として、緑中校区が緑台小学校があって隣に陽明と緑台。昨年度から、その前からありますけども、部活動の交流とか、6年の子ども達が緑中に行って授業を体験している。そういう取り組みですね、そういうことも含めて、取り組みを進めております。将来、今部長も言いましたけれども、緑小になるか陽明になるかっていう事は推計方法も変える、そして統合年度も実質は動く可能性が高いということですね、そういう過程の中でもしかしたら統廃合の条件がたくさんあります。最終設置方法、学校選定方法についていろいろ条件が出てくるといふ思います。子ども達多い少ない出て来るかわかりません。その時にですね、人数だけ考えますと陽明、緑台小学校も40年代に分離したときに、どちらも1300から1200の人がいます。陽明小学校が50年代当初から平成6、7年ごろまで20年近くは陽明小学校が多いんです。400人台から今はですね、300人弱にな

ってきた。でもおっしゃるように単学級云々のところは1つの基準としてここまで進めてきましたけれども、ここも含めてです。だから実態と推計の両方を含めて推計方法を現実的にこれからの社会情勢とか、あと交通情報ですね含めて検討を進めていく中で最終的には手順を作った時に案としてお示ししたいと思っております。そこでまたご意見いただいて、こちらの方が良いんじゃないかなとかは、あるかと思えます。基本的には、必要でしょうし、そういったことの時間をちゃんととってですね、対応したいと思っております。

それから校区審議会そのものもね、少しおっしゃった方がおられます。実は統廃合を進めていくということについては、全国的にやはり文科省の出してる手引きもありますけれども、一つはやっぱり、複式学級です。複式学級それから6学級です。7, 8, 9, 10, 11学級ね、こういうような一定の基準設ける中で、やっぱり複式学級ということは、5年生と6年生が4, 5人で3人と2人、これは極端な例ですがそんなことが現実あります。そういったことの中で教師は一人で6年生5年生の教育課程を進めていくのが、果たして、公立のこととか教育の充実にとっていいかということになると、現実的に難しい状況はあります。そういう中でですね、やっぱり5学級とか6学級、単学級、なおかつ人数が1学級でも20人を割るような状況があったとして、そこは、速やかに見直していくことが良いだろうと、いうのが文科省が言っています。そういう手順の中で、本市も11学級、推計が今後11学級からずっと減ってくるということの可能性を見込んでですね、26年度の当初の推計で昨年答申頂いたときは進めていこうということで、動きました。それを改めて説明会すると、現実ですね、実際に私も回ってみたり、それから、これ清和台とかグリーンハイツでこういう地域で、市をあげて、今若い世代に入ってもらう取り組みなさってます。そういう事含めて、一方で市では若い世代に入ってもらう取り組みとか、親元近居助成制度なんかで、取り組みなさって、それで小学生の子どもさんの数が多くなりますとそういう可能性が出てきたってことは、確かに説明会とか保護者の方々とかの情報頂く中で検討していくひとつのきっかけになったことは確かです。それとともに、ある面では足りなかったこともあります。そういう見直しかける中で今後どうしていくかということは、やっぱり一緒に進めていく中で、再検討というのを白紙にできないところはあります。もうそれはですね、5年6年か10年か分かりません。それは今後ですね手順を進めていって、地域の実情とか社会情勢とかを含めて対応していくことになるかと思えますので、ご理解いただけたらなと思っております。そして、長くなりましたけれども、思いとしてはですね、ここで一度立ち止まって、もう一回しっかりと、同じ作業をして、地域とか保護者とか学校現場の状況をしっかり受け止めて、そういう中で学校が無くなる事は確かに本当に、街にとってもそれは淋しいことで、嬉しいことではないということは重々承知しています。そういう中で教育を市としてはですね、当然、地域分権とか教育も、ひとつの観点で、若い世代が入ってこられる、親元近居とかそういう形で、新しい世代が入ってこられるような取り組みのひとつとして、教育も進めていかなければならないと思ってます。そういう中での、やっぱり、ある状況が将来くるかもしれない、という現実的なことを踏まえながら、再検討という形で今回お話しさせてもらったところです。将来的にはですね、手順を持っていく中でこれまでの課題を重点的にご指摘いただいたことを踏まえて今後の

対応についてたくさんやるべきことがございます。そういうことも踏まえてですね、手順については、保護者、地域や学校関係者の方々のご意見等お聞きする、または案をご提示した時には、ご意見頂きたい。そういう中で進めてまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。

<地域の方>

○緑台の住民です。ちょっと戻って申し訳ないのですが、この推計表、大きくしてくださってとても見やすくなってありがたいんですが、先ほど28年度の、今年ですよ、今年の1年生35人というようになってまして、緑台小学校ですけど、ずっと単学級が続くというこのグラフでは読めるんですけど、5年10年、今教育長の話にもありましたけど、この問題は5年10年、どれくらいかかって動くかわかりませんが、その時まで、ずっとこの資料が残っていくと思うとぞっとします。この35人単学級は作られたものです。でお尋ねします。そうじゃなかったら緑台小学校に何名来られることになっていたんか、教えて下さい。それと、ってことは逆に緑台小学校来られたら陽明小学校が減るとい風に考えていいんでしょうかね。それともうひとつ、この一番上に1から4年生35人ってずっと書いてありますよね。これは1から4年生は35人学級というふうに受け止めたらいいんですね。わかりました。はい。今の、2つお尋ねしたんですが、陽明小学校とその児童数の差を、本当のところを教えてください。それと最後に質問に答えていただく前に、これだけね、やっぱり5年10年、先がどうなるかわからないっていうのが、さっきから続きますから、いつになったら統合っていうのが始まるのかな、ってみなさん、私も含めてなんですけど、すごくやっぱり不安だと思うんですね。そういう中でやっぱり今1年生、緑台小学校に行くべき方が、陽明小学校に行ったら、その子達の人生が変わってしまったということに間違いありません。これは大きなペナルティーだと思います。そしたらそれをどこでこう、落ち着けるんだといったら白紙撤回しか私はないような気がします。校区審議会の決定は重いのは、確かにそうかもしれませんが、5年10年15年先になるかわからないことをずっと日にちを延ばされたままでいくの、ちょっと遠くなるような気がします。できたら、いつ再開するかわかりませんが、今回のこの分は白紙撤回していただけたらありがたいです。

→数字の事につきましては、何名というのは個人的に色々、抽出される可能性がありますので、数字で上げませんが、万が一、特別枠をしなければ当然35人以上ということで複数学級であったと言うふうにとらえております。

○ということはこの数字がずっといきていくんですね。

→この数字につきましては、例えば29年度になりましたら、またそこに実数が入ってきますんで、もし仮に転入等があれば、ここが36人変わっていきますけれども。

○基本になるのは35人でしょう。今年の数から1人増えたら36人ということになる訳ですよ。

→で、その数字から30年度31年度というふうに変わって行くんですけど、そのあたりのところについても、これは現時点でしている推計値ですので、またこの仕方等についても検討させていただきたいと思います。

<在籍 保護者>

○2つほど教えて頂きたい、先ほどから教育長の方が挙げられてた内容とかぶるんですけど、1つ目が今回の方針の変更点というのは、統合方針は変更しない、つまり校区審議会に決められた内容はそのまま行って、もし人数が、今ちょっと増えてますが、減ってきたら、またその決めた内容に従ってやりますよと、基本はそういう話と私は理解しています。で、その校区審議会の内容でちょっと私気になるところがあって、今日配布して頂きました資料の1枚目の下の段に、学校校区のあり方っていうのがありますね。3つの原則ということで、ずっとおっしゃっていた、これは校区審議会ってところで推されているんですよ。ただですね、その中で2番目の通学上の安全の保持ってところ、最初は通学上の安全と利便性の保持だったんです。なぜこれ利便性は無くしてもかまわないとなったのでしょうか。最初たぶん3回目くらいで出て来て、5回目6回目でもずっと言っていて、7回目8回目のところで利便性について何も喋ってないぞと、いきなり消えたんですね。子どもの利便性はもちろん親の利便性みたいなものは全く無視して校区審議会は構わないと、そういうふうな審議がなされて、答申を出して、それで教育委員会はそれを受けたというふうに判断してよろしいですか。これが1点目です。ちょっとお答えいただけますか。利便性はいらぬのかという質問です。

一番最初に事務局が、通学上の安全と利便性の保持という3つの原則ということで、挙げられてるんですけど間違いなく。それをいきなり切り捨ててるんですよ。これ何でいらぬんですか。

→校区審議会の中の話ですよ。ご存じない方もおられると思うんで、ちょっと説明しますと、校区審議会の答申を出すまでに8回審議しています。その中で今おっしゃられた通り、利便性の保持が入っていて、ある委員さんが「この利便性について具体的に事務局、どういうことですか」ということでやりとりがありました。で、当時その利便性っていう部分を具体的に示すことが出来ないんで、答申の中というか、あの中では、文言としては利便性についての具体的な定義というか、それが事務局の方で出来ないんで、いったん下げて。ただしですね、今おっしゃられた通り、利便性を無視しているのかと言われたら、そんなことはありません。今を含めて、ひとつはですね、よその自治体ですけれども、利便性がないためにバスを走らせたり、いろんなことをしています。ですんで、我々も当然利便性については今後も考えていく予定ですが、当時の審議の内容の中では、利便性について特に議論されてないんで、議論されてないものを答申と出すのは、いかがなものかということで、文言からは外しています。

○ありがとうございます。もう1点だけいいですか。先ほどですね、教育長の方が、大阪府の事例

を取り上げておられました。で、審議の中、校区審議会の中でも教育委員会の議事録の中にも、具体的にどういう事例をひも解いて、この統合なんていうのが、答申がまとめられて、それが教育委員会で了承されたのかっていうのが、全然見えないんですね。こちらが例えば、神戸の事例とか三鷹の事例とか調べてみても、良い事ばかりじゃないです。っていうのはすぐ出てくるんですね。そういった事例というのを、例えば今年の3月のね、第2回の説明会やるにあたって教育委員会の中で、何か話があったか、あるいは議事録には残っていないけれども校区審議会の中でこういった事例を実は提言してて、こういうリスクも危うさもちゃんと加味した状態でこの答申を決めたんです、だから安心して答申に従ってくださいとおっしゃるのであれば、この答申の基本方針を変更しないというのは、まあ目に見えないですけど、納得せざるを得ないのかなとも思うんですよ。ただ、そのリスクというがどれくらい具体的な事例をひも解いてやられたのか、その辺り教えて頂けないかなと。それを私も参考にしたいので。ちょっと教えていただけないでしょうか。すみません、お願いします。

→今、インターネットの時代ですんで、他の自治体の統合の問題について、いろんな立場で情報発信されています。それについては当然我々も、事務局サイドで情報は取り寄せています。それぞれの立場で、身近な情報から色々な情報、発信自体はかなり多くなっています。ですんで、すべからくすべての情報を網羅して研究したかという、申し訳ありません、そこまで自信がありません。ただ、一般的に言われている良いこと・悪いことについては我々も把握しています。ただ校区審議会は去年の答申を出したあと、一旦閉鎖しておりますんで、校区審議会という形でご説明をしたことはありません。というのは答申を出して一旦その任期が終わってますんで、去年中は今回のこの説明会を含めて、ご報告が出来ておりません。で、この先なんですけど、改めて校区審議会を再立ち上げします。そこでこの流れについて答申頂いた結果、このような状況になっていますということでご報告する予定です。以下そのような形です。

○じゃあ具体的な事例は何も、校区審議会の中では踏み込まれていない状態で取りまとめられた、でそれは教育委員会が答申を見せる際も、教育委員会の方々のそういった情報を共有せずに、ただ答申だけを読んで、イエスと言った、そういう話じゃないですか。

→ちょっと言葉が私も足りなかったかもしれませんが、事実については、私ども事務局の方で、色々な情報については認識しております。校区審議会の答申を得た段階で、その時点でその答申までの会議については事務局の方で資料の提出であるとか、他市の例というようなところはお話しさせて頂いております。

○事務局が持っている資料で、実際にこういうあの、具体的な事例を校区審議会に渡した資料はあるんですか、ないんですか。今ないとおっしゃってましたけど、それでも事務局は把握している、事務局が把握しているだけでは、教育委員会が決定機関なんで、教育委員会に話をしていないとしようがないですね。教育委員会に言ってるかどうかを聞いているんですけど、今の話だと、どっ

ちなんですか。事務局が握っているけど、それを小出しにして出さなかったんですか。それとも、一定のリストなりなんなり出して、この問題にはこういう意見もありますよということを教育委員会の面々は、把握した状態でそれでもあの答申をイエスと受け入れたんですか。そこを知りたいんです。こっちは。その上で、事務局が隠したのか、教育委員会がミスを知りながら答申を受けたのかっていうので、責任の主体が変わる気がするので、そこをはっきりして欲しいんです。

→申し上げます。隠したり、それから持っている情報を意図的に出さないということはありません。そこは理解して頂くしかないし、やっていないってことを証明するのは難しい。それから教育委員会に、こういう答申頂きましたということは、きちっと報告もさせて頂いておりますし、事務局側もこういう選択をすれば皆さんにこういうようなご対応になって、厳しいことになるということはわかっておりますんで、十分に良いことも悪いこともともお伝えしています。で、それでも当時は、当時は仕方なく答申まで行ってしまいましたので、あれはあれ、あの当時は教育委員会の決定という形で、法的に進めさせていただいた。ただしその後、その決定はいけませんので再検討するという、再検討ですよ。これを教育委員会の方に申しあげて、今回の30年度の統合案っていうのは無くなった。再検討するということになってます。

○最後にじゃあ一点だけお願いを。事務局が把握されている資料のリストなり、リストをちょっと、例えば紙ベースで頂くなり、あるいはこういった資料をアップしていただくなりして、私も勉強したいので、そういったところを、こちらの住民の皆様にも共有して頂くようなことをお願いしたいと思います。

<保護者>

○資料の大きく書いてある方の2番目の今後の対応についてっていうのが、今決まっていることとっていいですか。大きな字で書いてある2番目のことが。それが今後の方針、今後の対応についてですか。いいですか。なぜかと言うと、皆が心配に思っているのは、年度は再検討する。でも、統合方針は検討しない。はっきり書いてあるので、人数的な問題で、遠かれど近かれど、年度だけは変わったけども、統合方針は変更しない。それじゃあ不安で仕方ない。だから白紙撤回してくださいっていうのがほとんどの方の気持ちだと思うんですよ。単学級がいいか、悪いかっていうところで前回も牛尾さんは一長一短と言われていました。本当に一長一短で、私の友人で小学校の管理職をしてるんですけども、小さな小学校から大きな小学校にいて先生の管理も子どもの管理もすごい大変で、はっきり言って、小さい方が良かったっていう意見もあるんですね。大きい学校だからといって学級崩壊ないですか、子どものイジメや自殺がないですか。小さい学校だからといって、同じような問題もあると思うんですけど、やっぱり大きければ大きいほど管理が難しい、先生の質の保持が難しいっていう問題もあると思うので、本当に一長一短だと思うんですよ。戦後のベビーブームで、皆ほとんどの人は大きい学校に行ってた人が多いと思うんです。でも何度も言われているように、これからは少子化もあるので、小さくても良い学校っていうのもすごく重要なんです

よ。だから小学校というのは、先生がすごい大切で、緑台小学校に子どもを行かせているって言うよりも、特定の先生のクラスに行かせてるっていうくらい、クラスとしての学級経営が本当に大切なんで、そういうところをきちっとして頂ければ、単学級でも本当に心のこもったいい学級ができますし、実際に今中学校1年生の陽明小学校の子ども達は、途中から単学級でずっと来てましたけども、お母さん方に聞いてもすごくやりやすかったと。いい先生で子ども達同士も親同士も知ってたんで、すごくやりやすかったっていう意見もあるので、単学級がいけないってことはないと思います。逆に多田東小学校の人数が多いので、あえて緑台小学校に行きたいっていうふうに校区外から、小さい学校に行きたいという人もいるんですね。それは、逆にどんどん来られたら困るんですけども、子どもの性格にもよりますし、なかなか均等かって言っても、本当に今同じだけの人数、他の学校も全部3クラスって言うのは絶対出来ないんで、それは考え直して、全部それぞれ良い学校にしていったらいいと思うので、人数の事だけで年度が動いた、それはすごく大きなことで、一回決定事項みたいに言われていたのに、皆が頑張ったら30年度がなくなったってのは、ホントにすごい、皆さんのパワーはすごいなと思ったんですけど、あともうひとつ、統合方針をもう一度白紙撤回していただきたいと思います。以上です。

<地域の方>

○水明台の住民です。陽明でお聞きしましたけれども、当然ですね、学校が無くなるというのは大変なことです。こういう気がしますね。我々にとってですね、この街をどう活性化していくのか。ここが重要なポイントなんですね。その柱というものを置いて考えた時に、元気な子ども達を育てていく、これが一番重要なことなんですが、この街が今後も栄えていく方法を探っていく、そういう視点も本当に重要なことだと思ってますんで、今いろいろお聞きしましたが、もう一度じっくり腰を据えてですね、その方向において、どれが一番いいか話し合ってもう一度、また一方を考えて進むべきというか、そんな感じがしますのですね、この1万4千、5千人住む街は再び栄えるためにどうするのがいいか、という視点、これをたどっていく必要があるんじゃないか、こういうふうに思います。

→それではちょっと2時間を過ぎましたので、あと2、3名でお願いできればと思います。

<在籍・未就学 保護者>

○在校生と未就学児の保護者です。チビがいるんで妻が来れてないんで、今日のやつの再確認なんですけど、今日の決定は、再検討します、その方法を今から作りますよ、という話で大筋はいいんですか。

→そのように捉えていただいて結構でございます。

○で、その中でなんですけど、手順も決まってないのに、白紙に戻せない理由っていうのがいまい

ちわからないんです。どういうふうに学校を統合するか決まっていなくて、白紙に戻せない理由がないと思うんです。手順もないのに、話が進まないでしょ、というのが私の考えなんですけど。手順を今から作ります、それも案です、その手順さえ協議します。っていう中で、統合の話を残す理由はないと思いますね。一回手順が出来てから、また統合の話をして。っていうならわかるんですけど、手順もできてないのに、統合は残します。それは、ちょっと酷と言いますか、先ほどから5年後10年後いつになるかわからない、って話が出てるんで、いや5年後の話10年後の話、じゃあ保護者何人ここに座ってんの。事務局は何人座ってんの、って話になった時にずっとそれを推していくんじゃないかと、まずは手順から作りますと、いうふうにした方が、ものの考えとして理解しやすいですし、それであれば1回目から協議してる、決定してから6年後に統合しましょうよとか、末をチェンジしましょうとか。色んな案が出たと思うんで、一度その辺は作り直せると思うんで、手順が出来てからにしませんか、統合の話は。これが私の意見です。

<地域の方>

○地域住民です。今、基本的にね、このグリーンハイツに2つの小学校が本当に必要なんです。1つでいいんじゃないかという意見もありますけど、今このグリーンハイツは60万坪に広がった大きなところですね。でね、この1万5千人が、将来人口はどうなるかというのは、非常に大きなこれからの考えていく要素だと思います。ただ、日本全体として、いわゆる西宮とかね、人口増えている地域もあれば減っている地域もある。川西はちょうどその真ん中なんですね。けれど冷静に考えれば、キセラ川西にしても、インターが出来る問題にしても、前の状況、そして現在の土地の値段、あるいは、この自然環境、そして決定的なのは、小中高の教育レベルの高さです。これだけいい条件を備えているグリーンハイツね、そう簡単には人口は減らないんじゃないかと考えております。ただね、人口に対する小学生の割合っていうのが、全国で0.85%。今の小学校1年生が、日本の人口に対して。そして兵庫県の場合はね0.9%です。のちに人口が急激に減ったり、増えたりする場合は変わるんですけども、だいたいね大きな流れでは1%近い人口が同世代になるという40年50年を考えたら、そういう流れです。したがって、単に今単学級が出来たとかいう観点じゃなくて、この1万5千、そしておそらく、機械的に見ても1万3千、もっと少なくなって1万2千くらいとしてもね、この何%ね、0.8%考えたら、小学生が、同年代の小学生が80~100と推定出来るんです。それはひとつの学校あたり40から50。ちょうど2学級規模なんです。ですから、一旦間違っただけで小学校無くしてしまったら、本当に取り返しのつかないことになると思います。だから、私自身、小学校、この国だけじゃなくて、色んな国の小学校の状況を調査して回ったことがあるんです。文科省から話あってね。先ほどから合併の問題が基本になってますけれども、やはり合併を基本にする限りね、いまからここへ土地を買って家を建てようというのはね、やっぱり躊躇しますね。昨年度、そのことで躊躇された方が、我々の周りだけでも4人いるんですけども。それでね、今一番大事な市の基本的な考え方は、やはり教育を第一に大事にしていくんだぞというね、明確なメッセージを出すことが本当に、この街のため、川西のため。勝ち組に残るためにも大事だと思うんです。そして先ほど出ました、単学級の問題ですけども、単学級には様々な学力の子が、幅が狭くなるとか、意見が少なくなるとか、学校行事が元気が無くなるとか、それが全国的

にね、スーパーチャレンジ合同の授業、合同の学校行事で乗り切っている例はたくさんあるんですね、だから私はぜひ単に単学級が出たというだけで、そう簡単には合併は考えないでいただきたい。もし考えるとしたら、昨年度、文科省は小学校合併にあたって新たな基準を出しています。全国で6学級規模以下の場合には合併を考えていくという形で出していますので、そのへんを考慮して、ぜひ市としてはですね、京阪神で勝ち組として残れるような方策を考えて頂きたいと思います。よろしくをお願いします。

→それでは最後に、よろしいですか。

<地域の方>

○向陽台の住民です。先ほどから色々、私は住民なので聞いてましたら、とてもいいことをお母さんお父さん住民の方は言ってらっしゃいました。それを真摯に受け取っていただきまして、帰ってからはなく、教育委員会いつも言います、私は。こども園の事であっても、市長を呼んでくださいと。市長に話したほうが、川西市は市長がまちづくりをしてるわけですから市長を呼ぶべきです。ですから、打っても響きません。5月22日すごく色々なことがありましたよね。あのときも白紙撤回してくださいって、あれほど皆さんが頼られました。それでも同じことを今日も言っていますよね。大勢の人は白紙撤回と言ってらっしゃいます。私もそう思います。1からもし、まちづくりを、グリーンハイツの住人が考え、それを基に教育委員会に持っていき、教育委員会も考えて頂き、そのようにして頂きたいと思います。そしてさっき言いましたように市長も呼んで、打てば響くように。それでお願いって言ったらまた同じことになります。

教育委員会の方は、仕事で来てらっしゃいます。皆さんが一生懸命働いた税金です。仕事で来ますね、あなたたちは。でもここに来ている人たちはほんとに足伸ばして来ています。子どものことを一番に考えてあげないといけないんです。大事な子どもの心も傷ついています。親も両親も保護者も傷ついています。それを考慮し真摯に受け止めてよく考えていただきたいと思います。1点はそれです、もう1点はそこにお子様に来てらっしゃるでしょ。もう帰られましたか。お子様。3人来てらっしゃいますよね。いらっしゃいますか。そのお子様の声をちょっと聴きたいんです。それを最後によりしくお願い致します。

→突然ですので、それはちょっと。予定してたらあれですけども。

たくさんのご意見ありがとうございました。それでは最後に、教育推進部長木下よりご挨拶申し上げます。

【部長のあいさつ】

長時間にわたりありがとうございました。

たくさんのご意見なり、思いなり、お伝えしていただきました。私たちしっかり受け止めて、今後のことについて再度、教育委員会で考えていきたいと思っています。

それともう一つは新しい情報であったりとか、色々なことがございましたら、その都度、住民の方あるいは保護者の方に伝えながら、一緒に考えていく、そういった手順をとっていきたいなと思っています。

今日はどうもありがとうございました。

<在籍 保護者>

○すみません、ちょっと待ってください。今日ここに来られていない方もいらっしゃいます。あの、前回の説明会の時にも、発言したくてもできなかった方たくさんいらっしゃいました。今回こそはと思って来られた方もいらっしゃると思います。で、これで納得されましたでしょうか、皆さん。もう一度お聞きになりたい方いらっしゃいましたら、マイクをお貸しします。なにか最後に、まだ言い足りないことありましたらどうぞ。いつも一方的で終わってしまうと思うので、今回は最後までお話ししたい方いらっしゃいましたらどうぞ。いらっしゃいませんか。これで納得できましたでしょうか。

(参加者：誰も言ってへんねんからいいんちゃうん。もう4時20分ですよ。)

よろしいですか。

(参加者：ぎゃーぎゃー言わんでもええ思うで。言い方考えな。言い方がある言うてんねん。)

<地域の方>

○すいません、そしたらちょっと私2回目で申し訳ないですけど、これで納得しましたという方、手挙げてください。教育委員会のおっしゃること納得できましたよという方

(参加者：納得なんてできるわけないやん)

みんな納得できていないということを、

(参加者：おまえらしょうもないねん、教育委員会な、なんべんも言うてるけど。)

人数を数えてください。というのは、議事録には何人の反対があったかしか出ないですよ。それだったら何人だったか書いてくださいね。

(白紙撤回だったら賛成だという方、手挙げて頂いてもいいですか。はい。)白紙撤回賛成の方手挙げてください。数えてください。議事録に残して欲しいから言ってるんです私。人数数えてくださいね。(全員やん、白紙撤回したらいいんちゃうんの、前も言うたけど。自分らな、毎回毎回来とるけど。いらつく結果やろ結局。)(あれだけ、白紙撤回と言っているんだから。平岡議員も議会で何回も)(会議ばかりいらんねん。市民のための市役所やろ、市役所のための市民ちゃうぞぼけ。)(何にも変わらない。)(教育委員会もな、ほんまに子どもの事考えてるならお前らもっと責任持てや子どもに。牛尾教育長。)

すいません、あの、これだけ多くの方が白紙撤回希望しているということを、記録に残してくださいませ。ちょっと考慮して頂けたらありがたいです。人数は確認していただけましたか。(市長呼んでくださいよ。)

→また、説明会をやりたいと思いますので。

<地域の方>

○それとすいません、ごめんなさい。回答されていないことに関してはいつ言って頂けるんでしょうか。全部一方的に質問させて、お答えなかったですね。それに関してはいつお答えいただけるか、お約束して帰ってください。

(お前ら地域コミュニティの代表も大事かもしれんけどな、高齢者の話ばかり聞くのはちゃうで、教育長。自分ら分かってるやろ。保護者の意見度外視で、去年進めとったやろが。ちゃいますか、牛尾さん。コミュニティの代表いうて出てるけど代表なんて知らんで俺。)

→いろんな意見頂戴いたしましたので

(だから代表で出とったやんか。話されるんやろ、前で出てはった人に対しても。質の悪い奴をな、代表や言うのやめろや教育委員会も。そういうのがお前らのな、偏った意見やというてるねん答申も。お前らのスパイみたいな奴らやん。はっきり言って第三者とかな、わけわからん言葉で言うのやめろや。わけわからん税金使うな。お前仕事しろ。お前らの会議のためにやっとなちゃうねんこっちは。牛尾教育長、市長呼んで来いよお前ええかげん。市長はほんま何してんねん、川西のために。何回も市役所行ったやんか俺。市長出てこんかったやんけ。川西市の事ちゃうんかい。議会の時の副市長かて何やねん、あのしゃべり方は。自分らそれに対して子ども守ったんか。傍聴も全部行ったやろが。時間つぶして、出てきてないで吠えてるやつと違って行ったで俺は。ちゃんと俺は参加してお前らに意見言うてるねん。時間がとか言うな、2時間とか。2時間で子どものこと決めるなぼけ。そんなんで決まるわけないやろが。時間の問題ちゃうねん中身の問題やねん。もっと物事考えろ。だからお前ら進歩がないって言われとんねん何回も。一にも二にも、今回間違っただことに対してお前ら立って謝ったんか。ホームページにだけ謝罪出しやがって。全員立って謝ったんか言うてるねんお前ら。謝ったんか聞いてんねん。いけしゃあしゃあとな、考え方がちがったみたいなこと言うてるけど。)(やっぱり市長呼ばないといけないと思いますよ。)(ましてやこんな暑い夏休みにな、田舎帰ってる人もおるやろう時に、人数少ないとき狙ってな、そんなんやってもしゃあないやろが。)(呼んだらええやん、なんで市長呼ばへんねん。なんで市長ここに来られへんの。こんなしょうもない問題には市長様は出てこられへんのかいな。そんなにえらいの川西の市長様は。しょうもない目立ちたい行事にはよう出てきはるけど。なんのために自分ら仕事してんの、市役所入って。ほんま日本の政治も政治家も、自分らもほんま汚れとんな。真剣に仕事しろよお前ら。民間ではお前ら生きてかれへんぞ。当たり前のように税金使って当たり前のように給料入って。言われたないかしらんけどお前らやってることそれやないか。汗流してお前ら金稼いだことあんのか。ほんまボーナスが少ないや何や文句だけ言うて。あほなこと言うたらあかんぞ。やっかみで言うてるちゃうからな、公務員なんてなりたくないと思ってないから別に。お前らの姿勢が問題や言うてるねん。市のこと考えてる人間が仕事しろよ。市役所見ても何やねん、茶髪の奴がおったり、あほみたいな髪型の奴がおったり、あれが公人か。口のきき方もわからんあほばかり入れて。そもそも考え間違ってるぞ。どこが公務員やねん。謝罪に来てるこんな説明会でもお前ら全員クールビズ。

和気あいあいやっとるわけちゃうねん。こっちはほんまに契約や何や言うたらネクタイしめてジャケット着ていっとんねん。お前らみたいにクールビズで行かへんねん。陽明がすんなり終わってこっち長引くから夕方からにしたんやろ、昼からに。やったらええやん。何回も言うけどお前ら教育ということ子どもの前で口走るなよ。お前ら教育者じゃないよ、間違いなく。お前ら子どもおんのかいな。おるんやったらみんなここ転入させや。緑小通わせたらええやん。そこで安心して公立の学校行かせられますか。5年後10年後無くなるとかわけわからん話聞かされて。こっち子どもおんねん。お前らも自分らの子どもやったらもっと怒るんちゃうんかい。他人事みたいに。ほんまに市の大事なこと言ってるんやったら市長呼べや。牛尾さん、あんたそこまで力ないんかい。ほんまにそれで子ども守ってるんですか、教育長言うて。ええ加減にせえや。特別措置のことも、詐欺やんけ。お前らが詐欺はたらいたから単学級なったんや。牛尾さんお前5年後教育長でおるんか。あなた5年後も教育長か。分かれへんやろ。自分ら責任持たれへんことすんなて。どこが責任持ってんねんこれだけ地域混乱させて。地域乱して何を責任取ってんの。木下さんがやめんの？牛尾さんがやめんの？今。政治家なんて得意やん辞任すんの。自分ら給料いるし食っていかなあかんねんからおんねやろ。責任なんてとってないやん。簡単に責任とれるような話しちゃうやろ、やってること。自分らこないして言われてもよう返さへんやん。返したらええやん、暴言でも。言葉づかいなんて気にしませんから。)

→説明会は、終わりたいと思いますので、ご理解下さい。

(それが仕事やろ説明会って。そんなん聞くなよ納得して終わるんちゃうんかい。自分らの一方的なことだけ言うて時間来たら終わりかいな。言いたいこと言ったらこれでよかったって、ホームページでこんなことしましたって。上っ面だけホームページに書かれるからまた。この実態を書かんと。仕事やからそないして説明会を一旦終わらそうとしてんねやろ。暑いから？今日俺仕事な、昼から終わらせて来とんねん。役所そんなに偉いんかい。)

(今日の質疑応答の皆さんの意見ありましたけれども、これをどういった形で反映させていくのか、もしくはそのままなのか。報告されるんでしょうか。私たちの意見とか気持ちがこれだけあるんですけど、どれだけ拾って頂けるのか聞いておきたいんですけども) [以下聞き取れず]

→頂いたご意見は、市長部局ともまた話していきます。

(今までもそうでしょう。[以下聞き取れず])

<地域の方>

○すいません、今回の質疑応答で出た私たちの意見というのは、教育委員会事務局もしくは教育委員会の方でどういう形で取り上げて、反映させて頂けるのか。また、6月の議員協議会で、多くの議員さんから出た意見、白紙撤回するってということとか、審議会の答申案は、白紙に、やっぱり少なくとも元に戻すべきであると、色んな意見がありました。これはどういった形で反映してもらえ

るのか。そのままなのか。聞いただけで終わってしまうのか。市長には声は届いているのか。教えてください。

→市長の方には報告という形でさせて頂いています。それからお話を伺った、そういったことを総合的に、ご意見頂いたことを今後どうしていくのか、そういったことをひとつの案としてまとめて、今後進めていきたいということで提案しています。

(でもそれ提案してるだけで市長何も答えてこおへんやん。どうでもええと思ってるからやろ市長は。市長様なんやから。傍聴行ってもえらそうに座とったわ。あの市長さん。ちゃんと座る人おれへんかったやん傍聴会も。)

→あのとにかく、我々は、聞いた意見を取りまとめて、どうするのかということについてはしっかりと検討したうえで

(だから白紙に何でできひんのかって何回も聞いているねん。自分らの大義なんてどうでもいいやんか市民からしたら。何で役所内の大義を押し付けんのって言うてるねん、市民に。あんたらの大義やんかそれは。市長さんの大義やろ。)

→今回説明させてもらって、その意見とかを聞きながら今後どう進めていくのかということをもたまたま決めさせていただくことですので、現時点においては先ほど説明させてもらったように、

(だから何で白紙という言葉が使われへんのかって言うことや。それはなんか法的なことで問題があるの？白紙という言葉が使えない。俺ら一般市民には見えない世界があんの？役所には。)

→基本的には、現時点で、今この段階では教育委員会としてはいわゆる最終的には、それははっきり言えないですけども、10年後あるいは20年後、長期的にみた時にはどこかで統合していかなければいけないと思っていますのでね

(それは最初に言うたやん、子どもが減ってきている実情は仕方ない事やんか。どことってもそうやん。でも減ってきてるのが何で悪いのって何回も言ってるねやんか。戦後な、7000万人8000万人のな、人口が1億超えたかって別にどうってことない話やん。わーわーわーわー騒いでいるだけで。ただ維持できるのかできないのかが問題やんか。あなた方が言うてるのは教育の話でしょ。それが、単学級になったら、単学級の良さもあるわけでしょ。前も説明会で言ったけど、塾も大人数でやる塾から個別指導に変わってるやん。生徒数減って先生1人で教える量増えんねんから賢くなるんちゃうんかっていう考えやん。)

→学力という一面だけで見たら、確かに少ない方が絶対効率はいいいし効果は上がると思い

ます。ただ子ども達が、将来的にどんな子ども達が育っていくかという中で、最終的には大きな集団での中に入って行くわけですね。やっぱりその基礎となる人との関わり、ひょっとしたら良い事ばかりじゃなくて、友達と喧嘩したり、いじめが起きたりするかもしれない。でも、このことが子どもにとってはすごくいい経験になって行くわけで、そういったためにはある程度習慣を作っていくっていうこと、これはひとつの考え。これが一番正しいと言っているわけではないです。そういった中で、今現時点において我々が思っているのは、やっぱりある程度の学習集団規模、これは勉強だけじゃなくて人と人との関わりということやっぱり必要なんじゃないかと、現時点で我々が思っていることなんです。

(あなたたちが思っていることでも、ほななんでその説明会においても、陽明小学校にするかもしれないって、なんで口走るの。陽明小学校を廃校するかもしれないってのはなんで口走れへんの。設定し直しということまで認めたんでしょ。決定もしてないのに、緑台小学校を潰すというのでやとったやんか。今までね。今フラットになったから、陽明潰すということでもいいわけでしょ。)

→ひとつの可能性としては当然ありうると。

(でも実際水明台の人間にしたって陽明側やからね。こっちの人間が言われてる、ここにお子どもらも、お前らの学校無くなんねんでって、牛尾教育長どうやってあげんの。お前らの小学校無くなんねんでって、言われてんねんで。これはどうなん？平等？差別？区別？なに？)

→実際にそういう問題が

(発生させたやんか。これ責任どう取ってんな。教育長言ってや。どう責任取ったん。なんのケアがあったん。さっきのお母さんも言とったやん。何のケアがあった？木下さん。できへんやろ。軽々しく口にすんなって。それが気に入らん言うてるねん。できもせんくせに。自分ら責任なんて取れへんやん。あと2、3年したらおれへんのやろ。この子らのことなんか考えてません、はっきり言うといたるけど。だからあなた方のことは信用できんから白紙しろ言うてるねん。川西市の教育委員会自体が信用できへんて言うてるねん。自分ら詐欺働いてるねんで。あれは詐欺やで。決定もしてへんのに緑台小学校に斜線ひいて学校行かせへんようにしたんやからな。)

→ただ、昨年度の段階では、統合するということは決定していたわけで。

(決定してないやん。自分ら説明会の最後に言うたやん。教育委員会の考えとしては決定している。俺らの決定言うたらな、全員、全会一致、みんな分かった分かったって決まっていることが決定や。あなたらの中で決まったことやろ決定いうのは。)

→教育委員会の中で決定してます。

(説明会の時決定してない言うてますやん3回とも。尾辻さん違います？何やったら録画もしたから言うけど自分ら決定はしてないって帰ってるやん。なんでそれ決定してるって言うん。決定はしてないって帰ったやんね。尾辻さん。その隣の室長さん。決定はしてないって帰ったやんね。また嘘ですか。牛尾さん、決定してないって言うて説明会終わらしたやんね。だから自分らこころ変わる言うてるねん。最終は決定してない、違いますか？)

→そのあたりが、いわゆる今日の説明会であった、統合のプロセスの中の…

(プロセスの中のことなんかよりお前ら謝ったんか。一番最初冒頭みんなの前で並んで謝ったんか。ホームページには普通に書いとったやんな。迷惑かけたことお詫びいたしますて。なんで自分らここで謝れへんの。謝った？俺1分遅刻したくらいで始まったと思うねんけど。謝った？思ってもないことを事務局の女の子らに打たせてそれでOKって印鑑ポンとついて、あれホームページにアップしただけ？ほんまに心から思ってあれはあなたたち事務局の人間、教育委員会みんなが問題やと思って、あなたたちががほんまに取り上げて、あれをホームページに上げさせたん？じゃないから自分ら気持ちがないって言われてたんちゃうのさっき。悪いことと思ってないでしょ。こんだけ地域揉めさせたこと悪いと思ってないでしょ。俺説明会で言ってん。別にここに未練もくそもない。だから買い取れ言うてるねん。お前らに売ったるって言うてんねん。引越すって言うてるやん。そこまでこだわる気はない言うてるねん私は。小学校までの距離とかいろんな問題を考えて買ってるから。父親とか母親ってそうやって家買うもんちゃうの。小学校に通うのに50分も1時間もかかるどこに買う親おる？だからそれやったら賃貸にするでしょ。そんなどこにローンで家買いますか。あんたらが買い取ったらええやん。それが責任ちゃうの。ええかっこの言うんやったら白紙にせえよ。)

→家の問題は、ちょっと。

(そうやってみんな買うんやろ。そんで活性化や言うてるけど、活性化するわけないやん。白紙にもせんと。人が入ってくるかどうかかわかれへんようにしてる。何をしたいんか分かれへんけど、コミュニティに関しても老人の巣窟にしたいんかいな。子どもら若い人増えるわけないやろ。)

→家の問題はね、ちょっと、今答えれないんですけど、ただ自分達に取り組んできたことによって、現実問題としてたくさん子ども達とか地域の方保護者にいろんな心配をおかけしたことは重々承知して…

(迷惑というか、俺陽明のやつははっきりいって嫌いやで。好き嫌いでいうたら嫌いですわ。俺もともとそんななかつたわけ、もともとは。あんたらが作ったんや。俺そんな気持ち微塵もなかつたよ。保護者会でもそんな気持ち一切無かつたよ。あのお母さんあんなん言うてるねんでこんなん言

ってるねんでって聞いて嫌な気しませんか。お前らがやったことによってこんななったんや。ほんで責任とかええかっこ言うてカッコだけつけられても困るんですよ、生活してるのこっちなんで。だからあんたらも引越しておいで言うてるねんこの校区内に。6人とも入っただよ。木下さん、牛尾さん。引越してきてやってみてよ。ほんで自分らの子どもとか孫、校区外で陽明まで通わしいや、緑台校区から6年間。それで判断できんのちゃう。）

→言われていることは、すごくよく分かります。

(わかってません。分かっとなら白紙までもっていくやろ牛尾。呼び捨てで申し訳ないですけど。市長に負ける場合か教育長が。)

→白紙になるということが、地域というかね、今日来られている方が、白紙になったらいい、白紙にしたいという思いを持っているということは、こちらとしてもものすごく、

(いや、不安やん。手順とかわけわからんことだけ言われて。)

→ただ、少なくとも今日この時点では白紙にしますということは、今日は言えないんです。

(じゃあ不安じゃないか？不安やんな。言ったり、不安やって。〈子ども：不安〉自分ら子どものこと考えてるんやろ。不安で言うてるやん。聞こえたやろ自分ら。言わしてないよ別に。)

→だから、こういった状況を

(このケアをどないすんのやぼけ。お前らきれいごとばかり言うな。このケアをほんたらどないすんのやあほ。)

→ただ少なくとも、

(少なくともちゃうねん。犠牲者でとんねんすでに)

→今日この時点で白紙にしますということは、言うことはできませんので。ただ強い思いを持っておられることはしっかりと。

(思いちゃうやんこの子らこのこと言うてんねやろ。子ども一番や言うたやん。言わしてないやろ別に。)

<地域の方>

○すいません、ちょっと。前回も、この場で白紙と言えませんかと言って帰られて、何か月たっても

同じこと言われても、今この場でも無理いうのはおかしいですよ。こないだもこの場で白紙と言えませんかと言って帰られています。また同じこと言われても、皆さんが検討なさった結果がひとつも出てきていない。またこの場では言えませんかと言うのは、同じことの繰り返しじゃないですか。少なくともその皆さんは白紙撤回のために頑張りますと言って欲しいです。市長に掛け合ってみますと。一歩進んでくださいませ。今まで何か月間もどういってお仕事されていたんですか。私たちどういふふうに待ってたかわかります？それでまた同じこと繰り返して。

→そのことについては、

○いいんです。もう言い訳はいいんです。お返事だけ頂ければ。(市長がこわいんやろ。)努力しますくらいのお返事はちゃんとください。(市長になんか言ったら自分らどっか飛ばされんの?) そうしなかったら教育委員会も、子どもを守るっていう、その意味がないでしょ。(お前らもっと仕事にプライドもって仕事せえや。)じゃあ次にきちっとお詫びしますも何もないし。古い資料で間違った資料を教育委員会は出されたまま、それで検討されたまま、基にして決められたことはもうもともとないものですよ。間違っていたんですから。それで間違っ、えらいことを教育委員会はしているわけですよ。緑台小学校はもともと40何人いたんですよ。健康診断はそれぐらい集まっています。私は44~45人と聞いた気がします、小学校1年生のお母さんから。ああ良かったね2クラスになって、と思いました。人数は分からんだろうとごまかしてはいけません。教育委員会は自分達のやったミスは認めてください。いろんな人数、予想の人数出してたんですから。だから都合のいい数字だけ出すのはやめてください。質問あるとわかったらちゃんと耳にしてあげてくださいね。それぞれみなさん質問されるのに、それに対して答えもなく、はい次次次としてどうするんですか。質問に対してはきちっとしてください。それしてないから今日みたいな同じことになるんじゃないですか。前回ここで白紙撤回できないから、だから持ち帰って検討と思っていました。(不登校する言うてんで。不登校するって子どもが今。この3人の子ら。牛尾さん。)みなさん持ち帰って市長に白紙撤回の意見がほとんどでしたとおっしゃってください。教育委員会が中心になって、委員会事務局が分かりませんが、皆さんが中心となって終わらせてください。私たちの代わりに。私たちは市長に会えないんです。よろしく

<?>

○すいません、先ほどもこの場で白紙撤回はできませんということおっしゃられてて、前回の私そのお話聞いてるんですけども。前回、時期については見直します、ホームページも直しますとおっしゃられて、まあ、私たちとしては白紙撤回して欲しいということ、ほぼ全員が同じ気持ちだと思うんです。その意見というのは、教育委員会の中で十分もまれて、市長さんにお話はいつてるんですよ。いつてるんですよ。マイク通してお願いします。

→あの、それぞれ、ここだけじゃなくて、4地区説明会やっておりますので、そういった中でのご意見というのは伝えております。

○で、そういう中で、教育委員会の統廃合についての説明会があんまり良くなかったということで、もう一度、白紙撤回したほうがという意見を市民たちが言っているのに、いや白紙撤回ではなくて見直しで行きますというのは、どこの部分がおっしゃっているんですか。市長が言うてはるんですか。それとも教育委員会が白紙撤回ではなくてこのまま話を置いておいて、見直しを進めていこうとおっしゃってるんですか。そこ教えてください。

→基本的に、今回の説明させてもらった、統合という基本方針は変えないけれども、年度は動かしますよということについては教育委員会の中で決めさせていただいている、ただ、今言えることは、非常にこの状況の中で、流動的な状況の中で、ひとつは30年度に統合すると決定していた、それを色んな推計の見直しとか、いろんな中で、あるいは地域住民の出入りの中で、30年度は無くなったと。後ろに延びたと。それが今度何年度とは決まっていますけれども、さらにいろんな局面から、地域と検討していこうと、今そこまでが活着しているわけですね。だからいい加減な、無責任なことは言えないんですけども、今後の手順を作っていく中でいろんな形での準備物っていうのは、先に決まって、手順があるわけではなくて、本当にいろんなことを総合的に再検討していく。地域とか学校の出入りであったりとか、それから当然、実際に主体的にこちらが推計調べた時に今後まちがどうなってくるのかという問題とか、それからこのグリーンハイツ地区の中で言えば、当然小学校の数が減るということはイコール緑台中学校の人数も減ってくるわけですよ。小学校2つ減っていけばね。そういったところもすべて総合的に再検討していくというところで考えていますので、だから現時点で白紙ということは言えないんですけども、そういう段階に今来ていると、そういうことで捉えて頂ければと思います。つまり統合ありきで単に引き延ばすという、統合ありきというそういう立場ではなく、本当にいろんなことを検討していく課題をもう1回見直していかなければならない、現時点では、30年度統合というところは、ここの段階まで進んだ、そういう捉え方をして頂けるとありがたいと思います。

○教育委員会としてね、学校統合の段階を進めていくうえで色んなお仕事があるのは分かるんです。今回その、統合しますと教育委員会が言われて、その調査の仕方、進め方を練られてこられたかと思うんです。その土台があるんだから、それをいったん置いておきながらも白紙にして、本当に必要な時にそれをもう一度持ち出してやればいいのかと思うんです。それをずっと置いておくのと、白紙にするのは全然わけが違うと思うんですけどね。必要になった時にもう一度出したらいいんじゃないんですか。

→少なくとも現時点では残しますが、ずっと残っていくかは分かりません。

○分かるときになって、ほんまに必要な時にもう一回出したらいいんじゃないかなと思います。

→言われていることはよく分かりますけれども、そのために次回手順を出していかなければならないと思いますので。それを検討する中で色んな選択肢が当然出てくると。

(手順にしても、手順は教育委員会だけが作るの？保護者の意見が入った手順はないの？)

→それは、出来るだけ地域の方や保護者の意見を聞く場を作っていきたいということで、今回の今後の対応というところで、保護者との対話をしていきます、進めていきますということを今回お示しさせて頂いておりますので。

(手順作るとしても、どっちかの学校かを決めとかなないと手順なんか変わるんちゃうの。陽明小を活かす場合、手順が変わる)

→それは進めていくときのひとつの、ひとつの規則的なものがある、規則的なものに当てはめるとこっちだということになるのか、頭からきめてしまうとこれまでの部分になりますので。そのところは、これから決めていく中でのことになると思います。言われていることは重々分かります。けども、これから話し合っていこうということなんで。

(だから、子どもの安全性とか言うてるけど、何も考えていませんよね。子どもほんまにこの暑い中歩ける？)

→通学の、

(歩かれへんで。家からここまで来るのにも汗だくなんで。来年小学校1年やねん、歩かしたくないわうちの子。ましてや娘やで。高速のインターできて変態が連れていったらどうすんの。今変な事件ばっか起きてるやん。)

→その辺も課題ですね、

(防犯カメラも1個の学校に指定のしれた数やな。あんなんで守れんの子どもを。それこそこんな山で、人の目も少なくなってきた時代でさっきのおじいちゃんとかコミュニティの人も言うてはったけど、そこまで見て無いやん子どものこと、はっきり言って。でしゃばってるだけやん、こんな言うたら悪いけど。これは私の一方的な意見で皆さんの意見ちゃうと思いますよ。せやけどほんまに総合的な意見を、若いもんから年寄りまでの意見交流会みたいなものをきちんとせんと、コミュニティの代表が出たってあんたら言うたけど、老人が一人意見言うたところで保護者何の意見やと思とんねん。子どもすらおれへんやんその人ら。今の時代に生きて無いやん、別に今の学校に子ども行かすときにどうやってやらなあかんとか。すでに年金もうて悠々自適にしてるかもしれんやん。俺ら年金も微々たるもんしかもらわれへん世代やん、別に頼る気もないけど。そやけどその人らのために払ってるわけやん今。文句も言わんと。若い子どものおる人の意見なんて聞いて無

いやん自分ら。なんで学校がなくなる前になくなる方の小学校の父兄だけでも先集へんかったんか。自分らに説明会で質問しても返ってこんかったやん。ほんで心がとか、教育がやん。自分ら教育者じゃないって考え方が。牛尾さん学校の先生やったんやろ。俺のツレの先生やったんやろお前。俺のツレの先生やったやんな。もうちょっと昔に戻ったほうがええで考え方も。お役所入ったらぼけるんちゃうか。言い方悪いけど。ほんまに自分ら責任という言葉を経はずみにいうたらあかんで。責任なんて持てる立場じゃないですからあなたは。ここまでやって市長出てこない理解もできへん。川西の市長さんは。) (今日市長にここに来てほしいという申出はしたんですか。おおかた、学校統合には、30年無くなりましたと一回打ち切られたと思うんですけど、それに対して市民色々、心配ご迷惑かけましたと、そういう話があつてしかるべきかなと思うんですけど、それを市長から話して欲しいということは申出はされたんですかね。そこちょっと教えてください。)

→申出はしていません。

(なぜされなかったんですか。必要ないと思ったんですか。)

→必要ないとは思っていませんけども、少なくとも今日の段階ではないかと。今日はとにかく、我々が思っていた趣旨と、

(前から呼んでって言うてるやんみんな。ほんなら俺ら何のために来たん、何回も市役所行ったん。市長呼んでって俺何回も言ったやん。)(今回ひとつの区切りやと思うんですけど、とりあえず30年に統合される、どうしようと思っていたのが、30年じゃなくなった。いったんは私もほっとできるタイミングやと思うんです。そこは言うべきじゃないですかね。)(決まりちゃうぞほんまええ加減にしとかな)(でもそれも言わないから、私どもの白紙撤回にして欲しいという話も本当に市長にちゃんと上がってんの?言うてんの?と思ってしまう。全然話通ってませんもん。全然上まで話伝わってないでしょ。)(子ども:なんで白紙撤回が無しで、学校を変えるってことになるんですか。教えてください。白紙撤回が無しで、なんで、学校が変わるというんですか。)

→白紙撤回をしないのに、何で統合が延期になるのかっていうそういう質問?今この場で言えることは、少なくとも平成30年度に統合しようって言うてたのはちょっと延期になってますよ、再検討になりますよということをやっています。ただ、これからずっと長い将来をみた時に、我々はやっぱりどこかで統合しなきゃいけないんじゃないかなって思ってるんで、いつかは統合、でも平成30年度ではありませんよということを伝えようと思っ言っています。ただみんなのお母さんやお父さんとか地域の方は、そうじゃなくて、何年か後に統合するという話を全部無くしてしまつて、もう一回考えた方が良くんちゃうのっていうところで意見が分かれてて今こうなっています。だから少なくとも、みんなが平成30年度に統合なると思つて、お友達ともそういう話が出てたかもしれないけども、それはなくなりましたよという話をしようとしていたんです。

(いつかは統合になりますよでは不安ですよ。いつか統合になります、人数が減ったらね。それはほんまに分かってます。人数が増えたら統合ですか。減るんじやなしに人数が増えたらね)

→子どもが増えるときには、適正化の必要はなくなりますので、

(白紙に、白紙に、教育委員会の判断で白紙にはできないんですか。もともと間違っただータで見て統廃合と。それを踏まえて白紙を求めるのは当然です。それは誰が考えても自然なんですよ。それで改めて人数見た時にそういう話が出てきたらいいんだろうと思います。)

→教育委員会だけで白紙撤回と決めるということはできません。当然市長部局にも

(当然それは市長にも言ってもらわなあかんわな。だって間違っただータで出てきた、それも言うてるんでしょ、市長に。データが間違っていたと。)

→間違っていたという表現…

(間違ってたやん。)

→推計は推計で、

(そやけどね、始めのデータが間違っただ、それでも推計推計と言われて。実数は捕まえられないでしょ、市役所も。)

→貴重なご意見ありがとうございます。だから推計で、校区となる実態を

(実態によらなあかんやん。統廃合なんやから。大事な問題やん。それでも推計で出来る問題違いうやろ。)

→仮に推計するとしても、推計の仕方によってもいろいろ数が変わってきますので。

(実態分かるやん、転入してきてんねんから。学校に聞いたって分かるやん。だって今月末に何人おりますかとか。聞いたら実数わかるやん。そんなもん。緑台小学校の校長に電話して、1年生何人2年生何人わかるやん。そんなん推計によらんでも。大元が間違っただたらね、全部。)

→あの、実数は確かにそれで調べているんですけども、2年後3年後に何人入学するかということはどうしても推計で見ざるを得ない。

(だからね、このような問題が出てきた時にね、それは当然、白紙になるのが当たり前やん。そん

で今出てるな、これは明らかに1クラスでしょ。これは出てきたんやからそれはそれでいいけどな。大体、今の子どもが6歳なって小学校はいるまでに転居もあれば、出ていくやつもおるやん。何でそこで白紙撤回できないかが分からない。何で今決定できないのか。)

(今のままでは、発言に、数年後に[以下聞き取れず])

(子ども：僕は、なんで白紙撤回はできないのかが知りたいです。教えてください。なぜですか。)

→あの、難しい質問してくれてありがとう。今は、もともと統合するよっていうことがあって、とりあえずそれが子どもの数が増えてきたから、ちょっと様子を見ようということ、で、統合するのを再検討、ちょっと待って止まりました。いまその段階です。で、この後、子ども、児童推計、子ども達がどれだけ入ってくるかとか、多田グリーンハイツの人口がどうなっていくのかなっていうのをずっと調べていった中で、今後どういうふうに進んでいくのかっていうのをしっかり考えた上で、結論を出そうと思っているから、今途中の段階で止まっている。だから、今後将来体に、残念なことだけど子どもがすごく減ってきた時には、統合しなければいけないかもしれない。違うかもしれない。またこれから先考えていかないといけないところなのかなと思います。

(どれくらいの時間。再検討するのはどれくらいの時間ですか。)

→またこんな言い方をすると怒られちゃいますけども、簡単にすぐにぱっと答えが出てくるものではないと思っています。要は、先ほども言いましたけれども、

(だから白紙撤回って言ってるんでしょ。)

→先ほども言いましたけれども、児童推計が

<複数発言>

(簡単な問題じゃないのに進めていくから悪かったわけでしょ。)(何年か分かれへんのに)(簡単な問題じゃないのにどんどん進めていったのが悪かったんですよね。その責任っていうのは白紙撤回じゃないと責任は取れないって言いましたよね。もう進んでいるんですよ。1学期終わって1年生はどんどん大きくなっているんです。待てないでしょっていう話をしてるんです。だからとりあえず白紙撤回をしてくださいという話をみんながしているんです。待っている観点の話をしてるので、待てるんですかみんなが、じゃあ。成長止まるんですか。止まらないですよ。間違っただけをここで言ったら白紙撤回するのが普通じゃないですかって言う話をしてるんです。)

(答申の、答申案っていうのは、子どもにとっては検討したら統廃合もやむをえないということですか)

→が、今言っている案です。

(案。残っているのは残っているですね。)

→今はです。ただ、今後というのは、様子を見た時には新たに、

(残っているっていうのはみんなの頭に残っているんで。これを一旦無くして欲しいと思ってるんですけど、これは、大きな目で見ればグリーンハイツに限ったことじゃないですよ川西市全体、やっぱり子どもが減ったらこの地域もっと若い人とか川西市全体にも広がっていきますよね。今、グリーンハイツではっていうから、清和台はって見られてしまうので。じゃなくてどこの地域でもそれはありうる話だということで、[以下聞き取れず])

(先ほどおっしゃってた、陽明小にしようか緑小にしようか先に決めちゃったら、それに沿ったルール作りになるとおっしゃってましたよね。だから統合ありきで再検討すると、統合ありきの再検討しかできないですよ。だから統合をやめて再検討するのは分かるんです。その結果統合になりましたっていったら、そこから話ができます。だから、統合をするのをいったん、再検討するのであれば、統合するのかもしれないのかから検討する。緑小か陽明小に先に決めてしまうと、それに沿ったルールになってしまうという意見を聞けば、統合を消さないと、再検討した時にどうしても統合よりの意見が出てしまうと思うんです。皆さんの中で。だから、白紙に戻したほうが、広くいろんな意見が出るかもしれない。話し合いの中で。確かに、1回消してしまうとまたあげるのは大変なのかもしれないんですけど、1回、どう考えても手順ミスだったと思うんです、皆さんの。今回の説明会4回ありましたけど、1回目からの説明があまりにもひどかったんで、こっだけ反感買っていると思います。だから今にっちもさっちも行かないと思うんで。そこを分かって30年やめたんだったら、元に戻すべきです。もっと手前に。そうしないと新たな発想は出ないです。すみません、統合を再検討ではなくって、戻さないと、白紙にしないと絶対に新しい意見なんて出ないです。ここは皆さん、苦勞するかもしれないですけど、白紙にする方法をしっかり議論されたらいい。どうやったら白紙に戻せるのか、地域住民に、署名がたくさん集まれば後押しになりますと言うなら、たぶん皆さん集めると思います。だからその、白紙に戻す手順すらわからない現状、どうやったら白紙に戻るのがって聞かれても答えられるの)

(なんで自分ら決定できても白紙にでけへんねん、決定権はあるのに。なんで決定する権利があるやつに白紙にする権利がないねん。おかしいことばかり言うてる前から。)

<児童>

○学校の先生から聞いて、前は緑台小学校の人数が多かったから陽明が作られたのに、なぜまた戻すんですか。

<在籍 保護者>

○子どもらが疑問を持つ自体、自分ら教育者失格やねん、はっきり言うもったるけど。こんな感覚を、こんな年齢の子らに植え付けた時点で自分ら最低やはっきり言うて。自分ら教育者じゃない。別にエキストラでもなんでもなくて。自分らほんまそういう時点で教育者ていう言葉を使ったらあかんて。教育者は教える人やで。

<在籍 保護者>

○すみません、みんなと違うかもしれないんですけど、皆さん、統合したいんですか、教育委員会さんは。どっちなんですか。今まで統合ありきで話は進んでたじゃないですか、実際ね。統合なくしてくれたらそれでいいわけです。教育委員会は立場があるから白紙にできひん言うのがあるかもしれないけど、あなた方は統合したいんですか。すべてが統合ありきの話で来るからね。今統合延期にしますっていうふうにするんやったら、白紙っていうふうに、地域としては無くなったというふうにしたいけど、それがどうしてもできへんっていう内輪の話っていうのを言うと統合したいんかな、にもなるわけですよ。本心どっちなんですか。統合したいんですか。したくないのであれば、自分らで手を出すことができないのであれば、住民に「あなたこうこうこういうことをしたらうちら動けるんですわ」とか、という話してくれたらうちら考えますよ。立てへんやつがいるやないですか。実際どうなんよ、実は統合したないんやと、いうことであればみんな味方ですよ、こんなやいのやいの言われることなく。ちゃうねん統合したいねん、いうのであれば敵ですわ。はっきり言うて。

立場があるって言うのはあると思います。そちらにも立場があると思いますわ。だけど、実際どっちなん？書記の人書かんでええから、みんな目つぶって、統合に賛成の方だけ、全員目つぶって手挙げてくれはったらそれで済みますやん。誰々さんが手を挙げて誰々さんが手挙げへんかったなんて言えへんから。とりあえずそちら、何人おるんかな、前5人で後ろ3人か。8人、目つぶって手を挙げてくれはったら。たぶん、みんな同じように手挙がるんとかやいます？止めたがってるんやったら、僕らに話してくれたら動きやすいようにしていくやないですか。そらあんなに人がいっぱいおるときやったら言いくかかったですけどね、今この人数になったらたぶん、何でも言えるわとなると思うんですけどね。あなた達が統合ありきで来てるんだったら完全に敵やけど、でも、言うてはいけない部分があるから言われへん部分とかもあると思うんですわ。そやけど、市民がこんだけ動いてるんでももう無理ですわ、っていうふうに動けるようにしたいんか、そちらが僕らを動かせばいいんやったらそれは言っときたいんちゃいますの。このために反対署名何千枚作ってくれ言われたら作るし。統合に賛成やいう人がおるんやったらその人発言させはったらいいでしょ。でも教育長さんは違うと思ってますから。

→そこはもうグレーといいますか、色んな考えがあります。で、条件としても違うと思うんですね。本当に出ささせていただいてるように、今後の推計を見て、今後の状況をみてその中でやっぱりどうなのかという…

○わかりました、それなら実際、本当にここの小学生の人数が少なくなったらというのはわかって

ます。でもそれが10年後なのか20年後なのかわからない。そしたらじゃあ5年後、前に座ってはる人5人、違う人ばかりになったときに、白紙になってたらその人たちがまた一から作っていかあきませんやん。けど、これが残ってるんやったら、前のままさあ復活させましようってすぐできちゃうわけじゃないですか。その時に、今回のこういうようなことをご存じな方が、例えば一人でも残ってたらこうこうこうでなっていうふうになるんやったらいいんですけど、5年後やったら残ってるかもしれない、10年後、一番端の人が一番若そうなんで、その人が残ってて、10年後も残っててこうこうこうやったという形やったらいいですけど。たぶんその頃になったらみなさんおれへん、事情を知ってる人がおれへんで、違う人がそこに並ぶことになるじゃないですか。その時に白紙になってなかったらそこからまた走り出すじゃないですか。けど白紙になってたらその人らが一から作らなあかんわけですから。その時の地域とうまいことやりおうたらいいですよ。けど、今は延期ですよという形で残してしまうと、皆さんがおられなくなって違う人5人並んだ時に、復活というふうに簡単に進んでいくやないですか。それが不安なんです。だけど、そのために白紙にするのが、立場上戻せないっていうのがあるんであれば、こっち動かしてくれたらいいじゃないですか。だから本心教えて欲しいんです。今マイク通さへんかったっていうのはたぶんそっちが正解でしょう。

→勝手に判断してもらったら困りますけども。

<在籍・未就学 保護者>

○ほんま生まれへんねん、はっきりしてくれな。子育てでけへん。ちゃんとはっきりしてくれな牛尾さん。5年後なりますわいうて、うち3人おんねん、まだ赤ちゃんおんねん。学校どないすんねん。こんなとおりにたくない言うてんねん。わざわざそんなんしてここを選ばんでも引っ越したらええわけでしょこっちは。あなたらの考え方がそれであれば、引っ越したらしまいやねん。ずっというてるけど俺川西市民ちゃうねん元からの。未練もくそもないねん。ただ来て10年近くたって、住んでいい街やな、ええ人ら多いな思って今まできとったんや。それがあんたらにめちやくちやにされた言うてんねんこっちは。だからはっきりしてくれんと出る出えへんも決められへんて。あんたらの方には勝たれへんてわかってるから、行政さんの。ずっとこんなに問題になってんのに出て来へん市長さまも。あんたらの方が強いんでしょ。市民の税金で食うてるのにあんたらの方がえらいんでしょ。言い方嫌か知らんけど。そやけどもうちょっとほんま市民のために働いてほしいけどな、市役所もそうやし、市長さんもそうやし。何のためにやってんねやろな、あんたら。ほんまに民間で、あの市役所の対応てええんかな。話飛んでるか知らんけど。挨拶もでけへん、声かけてもなんですかいうみたいな顔で奥からでてくる、奥では木下さんや牛尾さんみたいなえらいさんが奥でえらそうに座ってる。民間企業やったらお前らクビやで。こんなん生きていかれへんて。だから公務員やって俺らは思うんか知らんけどね。でももうちょっと責任とか、子ども達のためとか言うとして、子どもにこれ言わした時点で自分ら終わりやん。牛尾さんちゃうのん。違うのんかい。人間は失敗、ミスがあることだと言いたいんか。決定ができるけど白紙にはできない意味もわからへんし。さっきは決定っぽく言うとして、決定してなかった、説明会は決定じゃないって帰って

たのに今さっき決定言い出すし。自分らいうてることわからへん。だから自分らいったん全員白紙にして全員退いて言うてんねん。教育委員会自体信用でけへん言うてんねん、川西市の。書記の人自分らそれもホームページ出せよ、きれいごとばかり出さんと。市長出ろいうてるのもホームページ出てないやん。市民は市長に出てきてくれて書いてることすら出せへんやん自分ら書記しとつても。自分ら都合のええことだけホームページ出してるやん。You Tubeにもあんたらのこと流されてるやろ。行政のことも審議会のことも流されてるでしょもうすでに。白紙にした方がええよはつきり言うて。今日かて何しに來たかわからへん、また説明会や言うてるけど。さっきも司会者の人時間ない言うたけど。俺らは時間なんて関係なしに來たんや、司会者。司会者。お前2時間が言うたけど、お前らの都合にあわして俺らは來たんやあほんだら。だからお前らの方がえらいんかって何回も聞いてんねん。理解求めたかったらそういう言葉言われへんやろ、時間のことなんか。だからこんな何回やっても一緒やねんて。陽明の方かて揉めへんかったん、尾辻さん今回。選定のし直し言うたとき、陽明なんも言われへんかったん。朝やろ、午前中やろ。

→意見はちゃんと出てます。それでね、さっき本番で説明できてないですけど、統合年度再検討しますやんか。まずそこからです、統合年度の再検討をするということで、じゃあ何をするかという、児童推計の方法をちゃんとやり直します。そうすると、少なくとも、簡単に、先ほどご主人言われたとおり、それからそちらのご主人も言われた通り、緑台なり清和台は今安定してるから、推計の結果悪い方向では出ないと思います。結局それは、結局ですよ、結果的にはまず推計値は悪く出ないだろうと思ってます。その次に、どういいうご意見がそろったら適正配置に川西市全体で考えんといかんのか考えさえてほしいわけです。順番にやっていかんとあかんからね。一気に白紙にできないのはそこなんです。

○自分ら一気に決定まで持っていこうとしとつたやん。

→それは前の決定だった時です。

○前の決定言うけど、前決めたやつ、答申の時の人間おらへんやんか。だからその答申を残す言う言葉自体おかしいやんか。だからすべてが矛盾してるから消せ言うてるわけやんか。

→それで、陽明小で説明した時は、統合校や統合年度が新たに決まったわけではありませんとってます。だから、皆さんおるときに言えばよかったですが、一番いいシナリオで言ったら、子どもさん増えて、統合するのを考えんでよくなったら一番いいわけです。そらそうですやろ。で、そのために、例えば市長部局がなにもしてないかと言ったら、2日か3日ほど前の読売新聞読んでたんですけど、映画館の映画の前に街の宣伝する言うてました。川西が住みやすい街でということ宣伝したら効果があるということで宣伝してくれってそういうことも言ってました。それから教育長も言いましたけど、新婚さんにはなんらかの援助があるとかそういう制度も動いてます。だから、放置しようなんて思っないし、今は全体が減ってるから、この2地区があがっちゃったんですけど、だけどこの先

せっかく再検討の時間をもらえたわけなんですから、そのために仕事したいなと思ってるわけです。わかってもらえますか。

○わからん。でもだから1にも2にも、ややこしくしすぎたんやて自分らは。間違いなく。第一にはっきり言ってこんなな、子どもに対しての差別が出たんや、一番言いたいのは。あなたらの言い合いしてんのも、大人の言い合いだけでなく、自分らすでに子どもに対して差別したんやから。はっきり言うとしたるけど。なんで今まで通り学校行ける子と、今から学校潰される子、でも潰されるほうの学校の方が生徒数多い、そっからして矛盾やん。学校の規模グラウンドの規模一緒、ほぼほぼ変わらない、ただ単に中学校に近いから。それだけの理由で向こう選んどったでしょ。だからここが何か、誰かから金とれるんでしょ。

→その話は今はもうないですから…

○ないことないて。だから残すんちゃうのん。

→それは申し訳ないですから、ぼくら…

○ほんなら、陽明潰すってなんで言われへんねん。明らかに人数少なくなるほうを潰すのが当たり前やん。それが普通の考えやん。小中一貫なんて別にせんでええやん。3回目の時も2回目の時も中途半端になったやん小中一貫も。他のところでも小中一貫やってるんやったらわかるよ、川西市のほかの小学校が。やってないところとやってるところがある、それ自体が平等じゃないやん、やり方が違うんやから。同じシステムで動かしたらええやん平等言うんやったら。そんな時だけご都合主義で区別言うの。だからあなた達言うてること間違ってるよ、間違いなく。住民無視や。ほんで子どもへのケアの対応考えてんのか、夏休み明けの。なんか流したんか先生らにも。学校の先生に誰か口止めしてんの。無くなったこともっと公にしてよかったねっていうことを子ども達になんでもっと先生が言ってあげてくれへんのか。うちの子に聞いても、先生なんか言うてきたかて、何も言うてこないて。別に政治でもなんでもないやん。学校教育のことやねんから別に流してもええことやん。なんか絡んでんのか、政治が。

→いえ、別に…

○ほんならなんでそういうことを、教育委員会として安心できるように、子どものケアをするように先生に促せへんのか。そんなこともでけへんのか。傷ついている子は間違いなくおるよ。お前のとこの学校無くなるねんな言われてる時点で気悪いわ。今のここの川西の子らはまるいからええけど。伊丹や尼崎の子らやったらもっと切れとるよ。5年生や6年生でそんな言われてたらケンカになってるよ間違いなく。今の子らはおとなしいか知らんけど。それだけ川西の子どもらは質がええんよ間違いなく。他の市から来た私から見たら。それに自分らはひずみがかかるようなことをしたんやで。そんで責任ていう言葉を簡単に言ったらあかんと思うよって何回も言うてるやん。ほんで心

のケアも考えてない、自分らの大義名分だけ。川西の市長様はえらそうに出てこない。市役所に行っても秘書課の人間だけがもの言う、伝えときます。ほんであんたらの方に手紙が届いて終わりや。ほんでホームページでにこやかな顔してはる市長様な、子どもは宝みたいなこと言うところや。嘘っぱちもええところや。嘘っぱちで金取られてもしゃーないやんはつきり言うて。だから白紙にしる言うてんねん。こんだけ揉めるで次説明会したって。まして夏休みの人数少ない時狙ってやったと一緒にやんこんな。普通の時期やったらもっと集まるよ。反対の署名だけでも5000集まったんでしょ。あんたら知ってるやん。おれ何回も牛尾さん、あんたにも言ったやん、なんやったら市役所に全員で行こかて。あんたらがどないかするから言うから信用して何にもせんかったんや。脅してるんでもなんでもないやん。そこまで抗議せなあんたら市役所の人間も市長も出てこんやろが。だからあんたらどないすんねんて何回も聞いてるやん。自分ら答え出せへんからこないなんねん。次の説明会しても一緒にやでこんな、こっち側は。

<地域の方>

○ちょっとすみません。結局ね、言うておられることは、今までの状況の中で、統合ありきというのは、本当に街に若い人が入ってくるときに障害なんです。今住んでる人にとっても非常に不安があると。だからぜひ白紙に、ということ言うておられるんで、ぜひその意味を汲んでいただきたい。で、今日の題ですね、これ「再検討について」ということで、小学校統合の「延期について」という題でなかっただけでも、これよかったと私自身思っています。そういう意味で、「再検討」の中には、根本的な検討を含めて、ひとつよろしく願います、という意味です。もう一点ですね、やはりこれからのこの街はほんまにね、川西市全体ですけれど、ものすごい非常に大事な時だと思えます。その大事な時に、すばらしいキセラもできたし、インターも。これ本当に市がそのへん、おそらく注目されていますけれども、そういう意味ではね、市も我々も含めて、どう活性化していくかということを、大いに協力してこれからやっていこうと思えますので、よろしく願います。色々皆さんあると思いますけど、ひとつ今日は、この辺で話をしめませんか。以上です。

<地域の方>

○今言われていた通りです。

それから、これ耐震化工事3年位前からやりましたね、お金かけて。税金の無駄遣いにもなりませんし、やはり熊本だとか福島のようなものすごく大きな地震が来た時にはこれもう、来るって言うてますんで、その時には避難場所は絶対いるんですね。で、ついでですけど松風幼稚園も水明台1丁目の人は避難場所としてないので、松風幼稚園も残してほしいというのが希望です。

<地域の方>

○では皆さん長時間ありがとうございました。ご苦労様でした。

<在籍 保護者>

○すみませんちょっと質問なんですけど、今後の展開をもうちょっと教えてください。今日ここで終了したとして、今後どのような取り組みを教育委員会として考えておられるのか。先ほどのお話の中で、再度校区審議会を立ち上げるということを言いましたよね。そういう考えがあるってということと、先ほど尾辻課長が、今後の推計値、悪くないであろうと、清和台もここも、児童数の推計値は悪くないであろうということを出てくるのであれば、これからの適正化の実施条件っていうのも、手順のひとつとして書いて頂いて、そのあとに、その時に本当に統合は必要かどうかという討論が出てきて、それを校区審議会に諮問するという形でなされるのかなと。

→本来の校区審議会のあり方っていうのは、学校の校区が損なわれないかどうかっていう、そこなんです。今回特別に諮問上げた内容、今回っていうのは26年度ですよ、26年度で特別に校区審議会の中の諮問事項に、清和台と緑台の状況について挙げたんです。

で、今度この25日に校区審議会第1回目を開くんですけど、その時の議題っていうのは、全体の校区で上手くいってない校区があるんです。昔の町名とかの名残で、すぐ道はさんで向こう側は川西中学に通っているのに、川西中学に通えない校区があって、そこが自治会さんの中から要望がでて、校区を変えて欲しいということで、その校区を変える手続きを審議するという、本来の校区審のあり方なんですけど、それを審議します。

それと共に1年ほど、この統合のことについて、なんの報告も我々は出来なかったわけですね、校区審の中の。こうやって、緑台のお父さんお母さん方の意見があって再検討することになりましたという報告をします。これは校区審の中の議事録に載せます。審議そのものは、その日は諮問だけで終わっちゃうんで、それと、ここのことを白紙にするのとか、しないとか、そういうことを審議する場ではありません。話題として前回の1年以上前に答申貰いましたけど、このような状態になってますという報告だけで終わります。そういう意味で、校区審はスタートしますので、今おっしゃられた通り、この先ですよ、統合するっていうのは、さっき言われたように選択肢の中のひとつですんで、それがいいのかも含めて、ちゃんと考えるように流れていくと思います。今言えることは将来のことなんで、

○教育委員会からの諮問を出さないと、審議会は審議しないんですよ。

→そうです。諮問して、そのことについて、一般的な見解を下さいという形で答申を貰う。その答申を参考にして教育委員会は方針を決める。そんな意思決定の流れはそんな感じです。

○やっぱり必ずしも校区審を通してじゃないと、次の段階には移らないと考えて良いんですか。

→ですんで、さっき昔の答申がひっくり返ることはありませんと言いましたが、それは昔の情報のことで、それはそれで正しかったんでしょうけど、今この先推計値出してですね、ここのグリーンハイツなり清和台の状況が、例えば、インターが出来て変わりましたとか、

思った以上に、どんどん世代交代が進んで、子どもさんを転居させる方が増えて、推計値悪くないじゃないですかということになってくれば、そもそも統合の話を諮問する必要はありませんし、それはしばらく、そういう状況を見るための期間が必要になりますんで、何も心配されている統合ありきの諮問とか手順とか、言うつもりはないんです。そこはなくて、信用してもらいたいというか、そのつもりでいますから。

○わかりました。その、何月くらいに、いつくらいにその報告というか、私たちに対する報告なり、勉強会なり、小規模の話し合いの場であったり協議の場であったり、それを年内に行う予定はございますか。

→具体的にね、いつどこの会議室借りて集まってとか、学校の教室借りて集まるとか、そのような計画は具体的に今ないです。ただ一旦こうやって大がかりな説明会で、市が、この両地区だけ全体で話をするというのは、一旦これでしないというかね。よっぽどのことがない限り予定はありません。これこれこういうことについて一緒に協議しましょうよとか、お話を聞かせてもらえますかというような形で、それを学校の教室を借りるのか公民館借りるのか、市役所を借りるのか、ちょっとこの辺りは全然まだ申し訳ないですけど未計画なんで。

○私たちは、いつまでどういう形で、どういう姿勢で、どういう心持で、待ち続けられればいいんでしょうかね。

→その期間がないまま待つのは不安でしょうけど、それはそれで、そんなにすぐではございません。ていうのは、推計値出るのは少なくとも来年5月のまでもう1回見ないといけないし、この11月以降ですね、夏明けの引っ越しが落ち着いて、来年の見込みも立てなありませんし、ちょっと推計値が今のままどうなるかを読みたいですし、学年途中の引っ越しもありますから、それも様子見たいと思ってます。今までがちょっと置いてきぼりのような感じでね、ご不審に思われているかもしれませんが、必ずちゃんと広報して、話すなり、協議するような場を設けますんで、

<在籍 保護者>

○広報ええから、ちゃんと学校に流して学校で子どもに持って帰らせてよ。

→そうですね。

○伏せることちゃうぞ。大体、それを伏せて直前に保護者に知らずこと自体が間違ってるねやから。そんなん何で学校でちゃんとやらへんかったんかわからへん。直前にそんなん言われたから腹立ってるってのもあるんやで。

→申し訳ない。すいません。

○白紙はいつやってくれんの。今年もうこんなこれをせえへんて、白紙言うのはいつやってくれんの、木下部長。待ってくれ言うたけど、これはいつまで待ったら白紙になんの。

→それも含めて、ちょっと推計を出したりしながら、その中での…

<保護者>

○市民が白紙にして欲しいって言うてることを、こういう所で揉めました、こういうふうにも市長に話をしました。そこで、どこで白紙にすべきだ白紙にすべきではないという話になりましたという、もし次回話す機会があったら、ぜひそこは、私は前回から白紙にして欲しいと言ってるんで、どこの話で白紙にすべきじゃないと言われましたということをお教えいただけますか。白紙になったら、私はもうチャンチャンで終わるんで。

<在籍 保護者>

○ホームページの議事録も、今さっきの市長に出てきて欲しいっていう意見、ちゃんと出しといてよ。そこ1個も書いてないからね、ホームページの議事録。市民から怒鳴り声で、市長出てこいって声があったでもええですし。これホンマのことやからね。何で嘘書くん。ホンマのことやん、市長出てこないんは。

→怒鳴り声ではちょっと置いといて、

○いや怒りしかないもんそら。市長も出てきて、ちゃんと見たらいいやんこの実態を。市長様も。市長言うたらあかんね、市長様。牛尾さん戦ってよ。教育長。

<在籍 保護者>

○緑台小学校1年生の父兄の者なんですけど、36人いたから2クラス出来たよという話を聞いたことあるんです。で結果、35人で1クラスにならざるを得なかった。その1人ってそんなに重いんですか。単学級がよろしくないというのであれば、18人17人の学級が作れないんですかね。

→県の方で、教員定数が決まってるんで、文科省、国の方で結局決めてますんで、そこはこうしないと、国全体の地域差でなってしまうんです。国全体としての基準なんです。

○父兄としては、今回、教育委員会の操作があって35人になったという意識があるんですけども、そういう特例とかも使えないんですかね。

→実数で何人という定数が決まっています。

○実際、越境して行ってる子に対しては、なんか動きとかはかけてはるんですか。戻れるように。

→プライベートのこともあるんで、すべての方ひとりひとりとお話しさせていただいて、それぞれのお考えとかいろんなことがあるんで、そのことについては、ちょっとだけ対象の方々の意思をとった形で出来るようにと今、動いています。また今後も継続してという話を…

<在籍 保護者>

○プライベート言うけどな、巻き込まれてんで俺ら。別にその人らだけ特別ちゃうねん。俺ら全員巻き込まれたんや。

<保護者>

○一旦もう、ある意味、今回の話で統合ってなるだろうと思って、先にいってしまった方、逆に2クラスになるかなと思ってたのに1クラスになっちゃった、残された35人もある意味その、騒動に巻き込まれた、1クラスになった被害者、まあ被害者じゃないですけど。

<地域の方>

○教育委員会のミスで35人1クラスになったわけですから、私は前にもお願いしたと思うんですけど、はじめから35人を2クラスにしといて、いつでも戻ってきたかったら戻ってこれるようにしてあげてくださいとお願いしたつもりなんですけどね。せっかく担任の先生もおられるんだから、きちっと2クラス用意して、っていうのは教育委員会のミスなんですから。自然なことじゃないですよ。故意にこうなったんです。40何人なら2クラスなんですから。担任の先生も決まっていたんですから。今更新たに作るんじゃなくてはじめから2クラスにしておいて、転校生が1人あってもいいようにしたらいいじゃないですか。教育委員会ならできるでしょう。自分達の権限で、何人でもよろしい、何%超えてもよろしいと言われてるんだったら、それくらいできるでしょう。やっぱりそこまでして、自分のミスを認めて2クラスにしてもらったら、ここの表も2クラスに戻るのも問題ないと思いますよ。そうしてください。

何べんも、質問してもお返事が返ってこないんですよ。そういうことに対して返事はいつかありますかって先ほどから言っても、結局いつ、他の方も質問された方への返事が全然ないんです。次から次へと質問だけさせてますけど。

→今言われた、2クラスに欲しいという部分については、国が決めている基準なんで。

○国が決めていることを、教育委員会が潰したんですから、自分達の責任にしてください。国が決めていることと違っていることもいっぱいあります。例えば何人しかいけないうのは、何人になってもいいというのは、それは外してるんです国の基準を。都合のいい事だけはずして都合の悪いことは国の基準ですか。そこは臨機応変に、担任の先生もちゃんとせっかく決まっていたんですから。自分達のミスじゃないですか。それは、それは本人がよく一番よく知ってるんじゃないですか。

→国の基準によって出来ないんで。

○国の基準か何か知らないですけど、じゃあ、そういう間違っただことしていいんですか。

→いやいや、それは、

○それは、許せないと思いますよ。都合のいい時だけそうやって言わないでください。普通にいったら35人ではなくて、40人いたんですから。そんなね、都合のいい事だけ国の基準と言わないでください。人数が5%超えてもいいですよというのは教育委員会、国がじゃなくて、川西市教育委員会でしょ。勝手に決めているわけでしょ。都合のいい事だけ決めて都合が悪くなったら国が国がって言わないで下さいよ。お役所ってそんなのでいいんですか。本当に子どものこと考えて、皆さんのことを考えて。2クラスにしとけば問題ないんです。単学級にならないように。そこお願いしますね。そうしないと、自分達が過去にこうやってミスしたのに、次担当変わったから知らないなんてことになる可能性もありますよ。何%か忘れましたが、小学校は越えて良いというのは川西市の教育委員会が勝手に決めたんでしょ。勝手に今これは決まりましたからと、川西市教育委員会が。自分達が間違っただことしてるのに、今更言い訳しないでやってください。いいですね。お願いします。

→そしたら、そろそろ、ご意見もお伺いできたと思っておりますので、いったんこれで終わらせて頂きます。

終了